

APPROACH

KOBE

No.44

2015.1.31

■特別企画

- 阪神淡路大震災20年を考える
- リノベーションによる個別更新を通じたまちの魅力づくり



神戸市耐震キャラクター
オキールファミリー

APPROACH No.44

(一社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

巻頭挨拶	新年のご挨拶	神戸支部長	柏本 保	1
	新年に寄せて	神戸市長	久元 喜造	2
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 建築指導担当局長	阿部 憲敏	3
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 安全対策担当部長	烏田 政明	4
	新年のご挨拶	神戸市住宅都市局 総務部耐震化促進室室長	矢島 利久	5
	新年のご挨拶	一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社住環境再生部長	井垣 昭人	6
	新年のご挨拶	神戸支部 副支部長	藤澤 利行	7
〈特別投稿〉				
	リノベーションによる個別更新を通じたまちの魅力づくり	神戸芸術工科大学 環境・建築デザイン学科 川北 健雄・花田 佳明		8
〈特別企画〉				
	あれから20年後の士会活動	公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部 支部長 田中 義之		16
	人間交流のネットワークを生かして安全・安心のまちづくり	兵庫県建築設計監理協会会長 瀬戸本 淳		17
	阪神大震災20年を考える	(一社)兵庫県建築士事務所協会会長 山本康一郎		18
	地震対策について考える	神戸支部賛助会幹事北村鉄工所 北村 憲二		21
事業報告	定時総会・講習会・研修見学会			22
活動報告	第2回『タウンウォーク』レポート	研修部 安藤 昇		26
	大阪ガス(株)「NEXT21」見学会レポート	研修部 安藤 昇		29
	一泊研修「萩・長府と下関の旅」に行きました。	事業部 前田 由利		30
	第31回親睦ボウリング大会			32
	同好会だより			33
	第1回トレッキング同好会	会長：柏本 保 幹事：前田信行		34
賛助会だより	大規模修繕工事における屋上防水改修のポイント	関西塗研工業株式会社 藤田 秀人		36
	阪神淡路大震災20年神戸から元気を!!	大創建設工業 株式会社 浅井 嗣也		37
〈建築士事務所キャンペーン〉				
	第6回建築士事務所キャンペーン報告	灘区地区別連絡協議会担当 成瀬 秀一		38
	第18回 灘ふれあい秋まつり	共催セミナー担当 成瀬 秀一		41
	平成26年度建築士事務所キャンペーン	副支部長 藤澤 利行		44
	建築士事務所キャンペーンに参加して	菱電エレベータ施設株式会社 神戸営業所 岡本 季雅		46
	建築士事務所キャンペーンに参加して	エスケー化研(株)神戸支店 藤谷 章		47
組織図				48
新入会員紹介				50
作品紹介				52
受賞者紹介				53
すまいるネットだより		一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社住環境再生部支援課長 小川 直樹		54
ちょっとひと休み『アメリカ サンフランシスコ』旅行		関西塗研工業株式会社 藤田 秀人		56
会員の広場	ダッチオープン	三和シャッター工業(株) 三原 芳之		58
	工夫の詰まった建造物	旬竹久建築設計事務所 平川 宏行		59
	私の愛車遍歴	大和船舶土地株式会社 鈴木 祐一		60
	槍ヶ岳に登る	(株)山本設計 代表取締役 山本康一郎		62
投稿	老朽マンションの再生について	一般社団法人 兵庫県マンション管理士会理事 田頭 修		64
	フォトコンテスト	広報部 前田 信行		65
協賛広告				70
編集後記				75



新年のご挨拶

神戸支部長 柏 本 保

新年明けましておめでとうございます。

神戸支部会員並びに賛助会員の皆様には平素より支部の活動にご支援賜りまして心から感謝申し上げます。

平成26年5月9日開催の第5回定時総会におきまして神戸支部・支部長を拝命してから約8ヶ月が経過しましたが、やっと慣れてきたかなという感じです。

私は平成2年に神戸で独立いたしました。その後同じ志を持つ仲間と知り合うため、順次建築4団体に入会いたしました。

事務所協会には、平成4年に入会し、平成6年から神戸支部の理事を務めさせていただき、平成12年から2期副支部長、平成10年から現在まで16年間本部理事、その間平成16年から8年間副会長を務めさせていただき、平成24年に副会長を勇退させていただきました。したがって、昨年で約20年、事務所協会においてお世話役を勤めさせておりますが、大役を終え、その後のお世話役は本部理事と他会は兵庫設計監理協会の副会長のみで、昨年まで比較的ゆったりした気分でもございました。

思い起こせば、20年前神戸支部の理事になった当時は一番若かったのですが、今や上から数えたほうが早い年齢になりました。したがって、前三役から支部長の推薦をいただいた時も、私の出番は想定外でした。

神戸支部においては、ここ10年間は後方支援のみ。これからも後方支援と決めていたのに年寄りを引っ張り出すなど固辞したのですが、副支部長職時に、支部長をやらずに本部副会長に専念したことを覚えている執念深い前三役に、今回押し切られた形となったわけです。

前置きが長くなりましたが、経緯はともかく、支部長を引き受けたからには最大支部の名を汚すわけにはいきません。今年も3度の建築士事務所キャンペーンを初め一泊二日の研修旅行、タウンウォッチング、今年から会員親睦のために立ち上げたトレッキング同好会と順次行事を消化してま

いりました。

今後も、本部に神戸支部の存在をよりアピールするためにも、3人の副支部長、他の新しい幹事の皆様に支えていただくと共に会員の興味をそそる仕掛けを考え、活気ある神戸支部を目指し、今後若手に引き継ぐための礎の役目を果たしたいと思っております。

さて、われわれ設計事務所の目的はいろいろありますが、大きな柱は次の2つだと思います。

- (1) 社会貢献：建築を通じて地域への社会貢献し、ひいては建築文化の発展に寄与する。
- (2) 設計事務所の地位向上のための活動。一般市民へ設計事務所の職能を認知していただくための努力。

昨年は、建築士事務所協会、建築士会、JIAの建築3団体が結束し、6月に改正建築士法が可決成立し、交付されました。建築3団体の結束が政府を動かす巨大な力になり得ることを実証しました。

兵庫県においても今後、他の建築有効団体との融和が不可欠になってまいります。

幸い私は建築4団体に属しており、業界での顔の広さだけが私を取り柄です。

そこで、今後『他の建築3団体とのさらなるコミュニケーション』をテーマに、お互いの団体がまちまちに行っていることを神戸支部だけでも、できる限り一緒にやり、建築士の横のつながりを大切にし、ひいては、4団体が将来は1つになれるような活動を神戸から発信していければと思っております。すでに兵庫県設計監理協会とは、研修会、トレッキング等の行事の相互乗り入れを実施し、成果が出始めております。

さらに今年は阪神淡路大震災20周年目の節目の年に当たります。全ての建築士が手を携え安全安心なまちづくりのためさらに邁進する必要があります。

今後も神戸市の幹部の皆様、正会員、賛助会員の皆様の神戸支部へのご指導、ご協力をお願いいたしまして、私の年はじめの御挨拶とさせていただきます。



新年に寄せて

神戸市長 久元 喜造

あけましておめでとうございます。皆様が、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申しあげます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、日ごろから市政に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申しあげます。

1995年1月17日に発生したあの阪神・淡路大震災から20年の歳月が流れました。

震災への対応、その後の復興に苦勞された皆様が少しずつ退かれ、新しい世代を迎えてきました。私たちは月日が経つのを止めることはできませんが、記憶を留め、受け継いでいくことができます。震災の経験とそこから得られた教訓を次の世代に引き継いでいくことができます。このことは、震災20年の「今」を共有する神戸市民に課せられた厳粛な責務ではないでしょうか。

神戸の街は国内外から寄せられた沢山の皆様からのご支援のおかげで復興することができました。私たちは感謝の気持ちを忘れることなく、自らの経験を活かし、防災・減災、安全・健康などの分野で他の都市や地域に貢献していきたいと思えます。貢献し続ける都市であることにみんなが誇りを持つことができる都市でありたいと考えています。

また、神戸市では、まちのさらなる発展に向けた取り組みのひとつとして、神戸の都心を大胆に活性化する「神戸未来都市創造プロジェクト」を推進しています。現在、市民の皆様のご意見もいただきながら、都心活性化に向けた将来ビジョンである、神戸の都心の「未来の姿」の策定を進めています。市民の皆様の思いを盛り込んだ夢のある「未来の姿」を取りまとめ、今後の神戸の街や経済全体の発展につなげてまいりたいと考えています。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様におかれましても、引き続き市政へのご支援、ご協力をお願い申しあげます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして、すばらしい年となることをお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

建築指導担当局長 **阿部 憲 敏**

あけましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、平素から神戸市政、取り分け建築指導行政にご理解とご支援をいただいております。厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、注目しておきたい法律の改正等がありました。

まず、建築設計業界、即ち支部のみなさんに直接関係する、建築士法の改正です。建築物に関する現行の法制度では、設計等の業務を行う建築士事務所の契約責任が不透明であり、建築紛争の増加・長期化等につながっているとされてきました。それに対し、建築設計関係三団体は「共同提案」を行いました。今回の改正はその提案の内容を反映したものであり、みなさんのこれまでの取り組み、働きかけの成果です。その結果、300㎡を超える場合には書面による契約を義務化する、管理建築士の責任を明確化する、建築士免許証を提示する等の措置を講じられました。昨年6月に交付され、周知期間を取って、それから1年以内に施行されます。

もう一つ、建築指導行政の手段の一つとなる「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が昨年11月に成立しました。所有者等による適切な管理が行われていない空き家等が、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼ

しています。この法律では倒壊の恐れがあるなど危険な空き家に立ち入り調査する権利を市町村に与えるほか、所有者を把握しやすくするため市町村が固定資産税の納税情報を活用できるようにするのが柱です。そして、国に空き家対策の基本方針を作るよう義務付けるとともに、市町村には倒壊の恐れがある空き家などの撤去や修繕を所有者に命令できる権限も付与し、所有者が従わない場合は行政代執行で撤去できる規定も盛り込んでいます。

今、神戸市役所は変わりつつあります。久元市政は、「輝ける未来創造都市」を掲げ、「神戸は安定した成長軌道へ」を目指しています。そして、具体的な施策として「三宮再開発」や「LRTの導入」などの華々しいものがある一方、地道な取り組みも大切にしています。建築指導行政の分野でいえば「神戸市建築物安全安心実施計画」の取り組みなどがそうです。神戸市は様々な視点から、安全安心なすまい・まちづくりに取り組んでまいります。支部の皆様には、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

それでは、最後に、神戸支部のますますのご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局
安全対策担当部長 烏田 政明

新年あけましておめでとうございます。

平素は建築指導行政にご理解、ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

さて、本市では、安全で安心なすまい・まちづくりを促進するための総合的な計画である「神戸市建築物安全安心実施計画」を平成11年度に策定し、その後引き続き、第2次、第3次計画を策定し、各種の施策を推進してきました。そして、平成26年3月に神戸市建築物安全安心推進協議会総会において「神戸市建築物安全安心実施計画（第4次）」を策定しました。

本計画では、特に「適法な建築物が違反建築物化しないよう予防するための事前対策」や「危険性の高い建築物や累積する違反建築物に対する重点的な検査・指導」等に取り組むこととしております。

そのための施策種別の一つとして、建築物の安全性を確保することとしており、適法化のための対策を進めてまいります。

《定期報告制度の実効性のさらなる向上》

適法化のための対策として、法令に基づく手続きを確実に実施していく必要があります。

特に多数の人々が利用する特殊建築物等につきましては、完成後も安全に維持管理するために、定期的に調査し報告する「定期報告制度」があり、既存建築物の適法性を確保するための取り組みを行う上で非常に重要な制度であり、実効性のさら

なる向上に取り組んでまいります。

定期報告の報告率向上策としましては、平成26年度より報告済ステッカーの配布を始めるなどの取り組みを進めています。

また、報告に基づく対応、指導としましては、未報告物件や是正が必要な物件への立入調査を実施するなどの取り組みも行っています。

《違反を未然に防ぐ（予防）》

違反状態に陥った建築物の是正は容易でないことも多く、是正までに時間を要する傾向にあることから、違反建築物が作りだされる前に、違反を未然に防止する「予防対策」に取り組むことが重要です。

そのためには、違反防止のための実効性ある情報提供や注意喚起を行う必要がありますので、現在、建築関係事業者への情報提供や建築物内で注意喚起するためのサイン整備等のツールや仕組みづくりなどを進めています。

神戸市建築物安全安心実施計画の第4次計画の各種施策の推進におきましては、兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様方の参画が不可欠ですので、今後も安全で安心なすまい・まちづくりを進めるための取り組みについて、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、神戸支部皆様方のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸市住宅都市局

総務部耐震化促進室室長 矢島 利久

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、平素より神戸市すまいの耐震化事業の推進について、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

神戸のまちは今年の1月17日で、阪神・淡路大震災から20年の節目を迎えます。震災の経験と教訓を風化させることなく、いつ起こってもおかない次の地震に備えるため、住宅・建築物の耐震化をより一層推進してまいりたいと思います。

神戸市では、平成19年度に「神戸市耐震改修促進計画」を策定し、市内の耐震基準を満たしていない、いわゆる「旧耐震基準建築物」の耐震安全性を確保するための取り組みを進めています。市内の建築物を、生活の基本となる「住宅」と「住宅以外の建築物」、さらに「公共」と「民間」の4つに区分し、それぞれの耐震化率の現状と目標、及び実現のための方策などを示しております。現況では、住宅で目標95%に対し86%、住宅以外の民間建築物では目標90%に対し79%となっており、目標の達成年度である今年度は益々取り組みを強化していかなければならないところであります。

神戸市・神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）では、すまいの耐震化を集中的に普及・啓発するため、市民団体・専門家団体・報道機関等と連携し、毎年9月・10月に「すまいの耐震キャンペーン」を開催しています。昨年度、兵庫県建築士事務所協会神戸支部の耐震診断員のみなさまには、お忙しい中にも関わらず、都賀川公

園での「灘ふれあい秋まつり」や、板宿商店街における「建築士による“住まいの相談会”」を開催いただきありがとうございました。身近な場所で専門家に相談する機会があることで、市民の方々の住まいに関する不安が少しでも解消できたかと思えます。当日は、多数の市民の方々にご参加いただき、耐震化の普及啓発を行うことが出来ました。あらためて御礼申し上げます。

こうした取り組みを推進するためには、市民、地域団体、事業者、専門家などの多様な主体が、それぞれの役割を發揮し、連携していくことが重要です。その中でも、住まい・建築の専門家としての建築士の役割はますます重要になっています。兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様が、これまでも、住まいの耐震化の促進、すまいるネットの運営支援等において、安心して豊かな住生活を実現する重要な部分で活躍してこられたことに深く敬意を表します。

また、平成25年に施行された改正耐震改修促進法に伴い、兵庫県建築士事務所協会の皆様には、耐震診断義務付け対象建築物の所有者の方へのご対応等、これまで以上のご協力をいただき誠にありがとうございます。本年も引き続き耐震化の推進にご協力くださるようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々の御多幸とご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社
住環境再生部長 井垣 昭人

新年明けましておめでとうございます。

平素より当公社の事業に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当公社の前身の一つである神戸市住宅供給公社(住公)が担っていた住関連事業の大半を継承する「住環境再生部」では、現在、管理課と支援課において様々な事業に鋭意取り組んでいるところです。

「公社賃貸住宅事業」を所管する管理課では、一般賃貸住宅、直営特優賃、借上特優賃など106団地・約3,700戸の賃貸住宅の管理運営事業を発展させていくことが使命となっています。これらの公社賃貸住宅にご入居のお客様へのサービスを充実していくために、昨年より、対象住宅(5団地)への新規入居者に対し、室内の一部の壁紙と照明器具を選んでいただける「彩り」サービスを開始したところです。

また、より安全に安心に快適にお住まいいただけるよう、計画的な大規模修繕工事の実施やリノベーション等の施設の改善にも兵庫県建築士事務所協会神戸支部(神戸支部)の皆さま方のお力をお借りしながら積極的に取り組んでいるところです。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「すまいるネット」と「まちづくり会館」を所管する支援課では、すまいからまちづくりまで、市民あるいは市民活動をトータルに支援していく体制をとっています。とりわけ神戸支部の皆様方からは、「すまいるネット」の運営に対し、多大なご協力ご支援をいただいております。ここに深く感謝申し上げます。「すまいるネット」は、ご存知のように、阪神・淡路大震災をきっかけとして設立

された「すまいの総合窓口」であり、今年で設立15年を迎えます。これまでも、公社ならではのネットワークを活かし、すまいに関して様々な取り組みをすすめてきました。

特に今年度は、

- ①高齢者や障害者等の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進に向けて「連帯保証サービス」、「残存家具の片付けサービス」、「安否確認サービス」等を提供する「こうべ賃貸住宅あんしん入居制度」の創設と運用、
 - ②鶴甲団地において、中層階段室型住宅におけるリノベーションモデル構築に向けたリノベーションプロポーザルの実施等中古住宅流通活性化や団地の再生に資する事業
- に取り組んでいます。

特に、中古住宅流通活性化につきましては、中古住宅そのものの安心感を市民の皆さまにどう得て頂けるのかという意味で、兵庫県建築士事務所協会様も積極的に取り組まれている住宅インスペクションの普及が重要になってくると思われ、今後、神戸市においても制度普及に取り組んでいきたいと考えています。さらには、阪神・淡路大震災から20年を迎えた今年、震災の教訓を今一度再認識し、「すまいの耐震化」に対し、なお一層の取り組みが必要であると考えております。これらの点でも神戸支部の皆様のご協力とご支援をぜひお願いしたいと考えております。

本年も引き続き、変わらぬご指導とご鞭撻をお願いするとともに、皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神戸支部 副支部長 藤 澤 利 行

新年あけましておめでとうございます。

平素は、(一社)兵庫県建築士事務所神戸支部の会員並びに賛助会の皆様には、支部活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので、(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部に入会させていただいて、これと印象に残る奉仕活動もない中、歴代の役員経験者の皆様からのご指導を仰ぎ、今年で25年目になります。心より感謝しております。神戸支部の幹事を13年間・総務部理事を6年間・会計部理事を2年間、そして現在の副支部長を務めさせていただいております。

近年は、事務所協会を通して、耐震改修に関するセミナーの講師・住宅省エネルギー技術者講習の講師と色々な経験をさせていただきました。耐震改修に関するセミナーの講師は、自分のこれまでの耐震改修工事の設計・監理がこれで良かったかが考え直す時間がいただけました。住宅省エネルギーの講師は、断熱の必要性の再認識、これまでの自分の中の断熱工事の施工方法の間違えを確認することが出来たと思います。感謝しております。

今、私が副支部長で担当させていただいております、事業部と研修部そして厚生部については、私の経験不足の為に、経験豊かな各部長・各委員の方々にお任せの状態で、過剰な負担をかけて申し訳ないと思っております。

今年は、あの悪夢の様な1.17阪神淡路大震災を経験して早くも20年、そして東日本大震災から約3年が経過しました。近年は、火山活動の活発化などと、人間とは、地球規模のものさしで考えると、なんとちっぽけな存在かと考えさせられる今日このごろです。自然災害は、未然に防ぐことは不可能ですが、災害から、“人々のごく普通の生活”“何ものにも代え難い尊い生命”“大切な財産”そして“住み慣れた街・ご近所”等、建築を通して提案・導き・守れる団体が我々(一社)兵庫県建築士事務所協会の使命かと、改めて感じております。関西・神戸における建築に関する経済状況は、異常な景気は感じますが、未来へ繋がる好景気はまだまだ感じられませんが、元気を出して今年も頑張っていきたいと思っております。

本年も、更なるご指導・ご鞭撻・力添えをお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

リノベーションによる個別更新を通じたまちの魅力づくり

神戸芸術工科大学 環境・建築デザイン学科

川北 健雄・花田 佳明



図1 「禅昌寺キオスク」

1. はじめに

人口減少は、いまや日本全国で対策が求められる最重要課題となっている。日本創成会議¹⁾が2014年5月に発表した人口推計では、現状の人口移動が収束しない場合、2040年までに若年(20~39歳)女性人口が50%以上減少する市区町村が896(全体の49.8%)にのぼり、そのうち人口が1万人を切る543の自治体については、「このままでは消滅可能性が高い」と指摘されて、各種メディアで大きく報道された。

同会議が作成した推計資料によると、兵庫県内でも前者の896の中に21の自治体、後者の543の中に4つの自治体が含まれている。神戸市では9つの区のうち、2010年から2040年にかけて総人口が増えるのは中央区のみで(図2)、若年女性人口はすべての区で20%以上減少する(図3)。

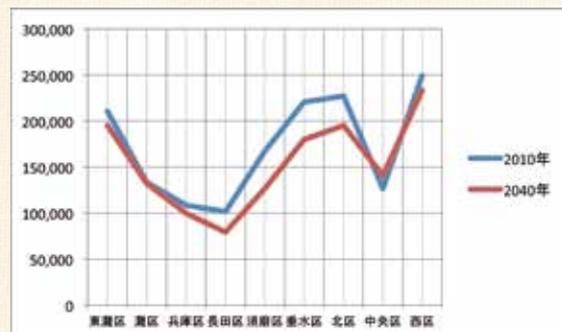


図2 神戸市各区の総人口の変化 (2010年→2040年)²⁾

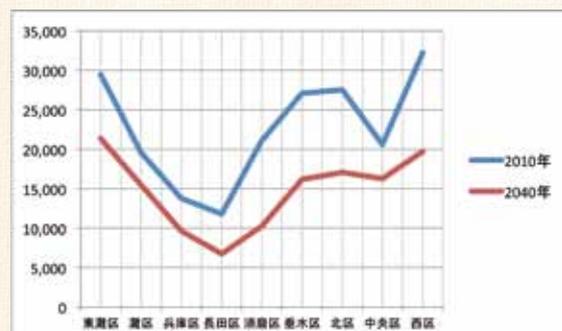


図3 神戸市各区の若年女性人口の変化 (2010年→2040年)²⁾

減少率が最も大きな須磨区では若年女性人口が51.4%減少するとされて上記の896の自治体の中に含まれ、総人口も2010年の167,475人から2040年の126,584人へと25%程度減少すると推計されている。

人口の急減が予測される地域では、今後、多くの空き家が発生することになる。特に、高度成長期に開発が進んだ住宅地では、同時期に建てられた家屋の老朽化が一気に進み、それらをどのように取り扱っていくべきかについて、しっかりとした方針を立てて対処していく必要がある。

このような状況の中で、神戸芸術工科大学では2010年より、そのような問題を抱える典型的な場所のひとつである神戸市須磨区の住宅地を対象として、老朽化住宅の再生利用を含む地域の魅力づくりのプロジェクトに取り組んでいる。そこで本稿では、阪神大震災から20年を経た後の神戸のまちづくりを考える際に、長期的なビジョンの検討に役立つ具体的な実践事例のひとつとして、このプロジェクトの概要を紹介する。

2. プロジェクトの対象地

本プロジェクトの対象地は、神戸市須磨区の神撫町から禅昌寺町にまたがる住宅地である。六甲山系西端部を横切る妙法寺川沿いの坂道の多いところで、地下鉄板宿駅の北方に位置している。大正時代までは茶畑などがあったのが、大正時代に良好な郊外住宅の供給を意図して開発された街である。妙法寺川を挟む斜面の緑に囲まれ、街の各所からは海への眺望も開けている。地形的な特色が豊かで、魅力ある住宅地としての大きな潜在力を有しているが、現在ある戸建て住宅や集合住宅の中には老朽化しているものも多い。

最寄り駅は徒歩で南へ10～15分ほど下がった板宿駅で、山陽電車と神戸市営地下鉄の両路線が乗り入れている。ここからは三宮を中心とする都心部、西神中央や学園都市をはじめとした北西部

のニュータウンエリア、臨海産業エリアのいずれの方向にも容易にアクセスでき、この点では、通勤・通学者を含む、多様な人々の居住に適した立地特性を有している。駅の周辺には、大手スーパーを含む商店街が広がっている。



図4 神戸の都市構造から見た立地特性³⁾

本プロジェクトは、神戸に拠点を置いて地域密着型の事業展開を行っている地元の不動産会社と共同で行っており⁴⁾、図5は対象地である神撫町・禅昌寺町の周辺で同社が保有している不動産の分布を示している。



図5 対象地周辺において事業者が所有する土地の分布⁵⁾
(図中のA、Bは後述のシェアハウスの位置を示す。)

この一帯は1960年代を中心に住宅地としての土地造成が行われたところである。図の左上から下端中央(南南東方向)には妙法寺川が流れている。その支流で、図の上端中央あたりから左下

(南西) 方向に下る小さな流れが禅昌寺川である。周辺には緑が多く、南方向に開いた場所では、海が見えるところも多い。

図6は、図5と同じエリアの地形と現在の道路を示したものである。図の左上から下端中央(南南東方向)に流れる妙法寺川沿いの低地に広がる街区が比較的古い住宅地なのに対して、図の右上に広がる格子状の街区は1960年代に宅地造成が一体的に行われた区域である。同時期には、これ以外にも異なった向きの斜面地ごとに造成が行われ、それらの比較的小規模な開発地が継ぎ合わされた結果として現在の街区全体が形成されている。



図6 対象地周辺の地形と道路

3. 住み手が作り出す街の風景

実際にこのあたりを歩いてみると、いろんなところに、住み手の関与によって生まれた街の景観要素が存在していることに気づく。



図7 街路に面しておかれた植栽

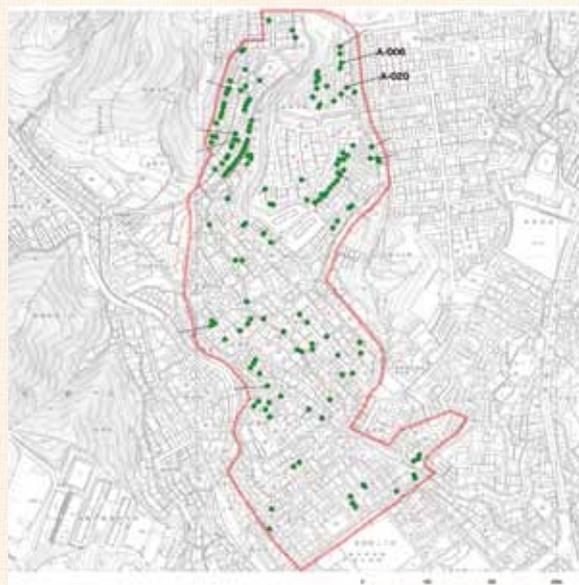


図8 街路に面しておかれた植栽の分布図

図7は、住民が街路に面して並べているプランターなどの植栽の例で、図8は赤い線の範囲内で実際にまちを歩いて目にする事ができた街路に面して配置された植栽の分布を示したものである。



図9 街路に面しておかれた家具や物

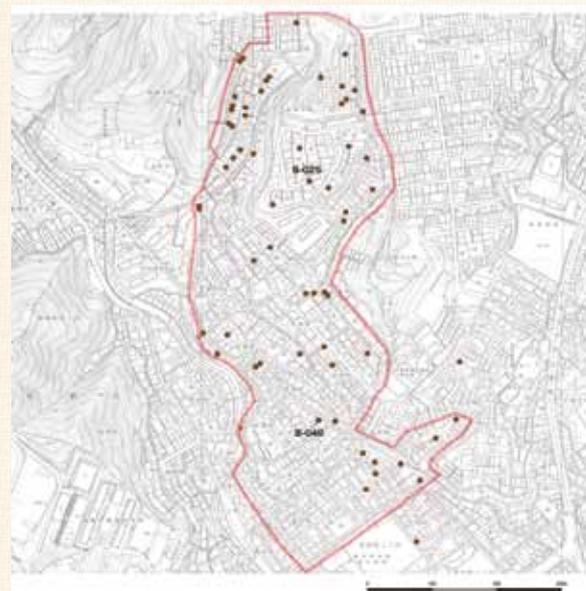


図10 街路に面しておかれた家具や物の分布図

図9は、路上あるいは道路と私有地との境界部分に置かれた家具や、建物の外壁に設置された道具類の例で、図10にそれらの分布を示している。



図11 建築化された外部

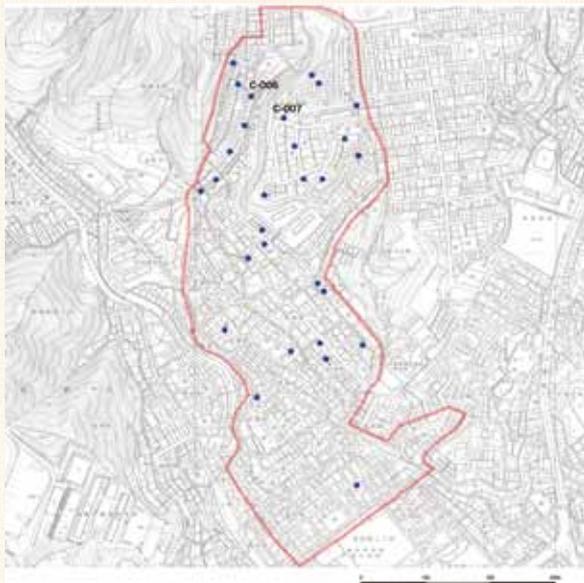


図12 建築化された外部の分布図

図11は、建物に後付けされたベランダや物干、すなわち建築化された外部空間の例で、図12にそれらの分布を示している。

以上、図8、図10、図12で丸印(点)の多く分布するところは、概ね道路沿いの植栽・家具などの表出物が多く、建築物と道路との間に住み手の様々な生活行為が展開する外部空間が多くみられる場所である。本プロジェクトの対象地内には、多くの印が集中する場所、すなわち住み手の関与によって生まれた街の景観要素が集中的に存在するエリアがいくつも存在していることがわかる。

街の風景を特徴づける要素としては、川や緑、地形などの自然要素、建物や道路などの人工物のほか、ここで示したような、住み手の生活行為を

反映したような要素も重要であり、この地域の魅力づくりのために活かすことができると考えられる。

4. 地域づくりの方針

上に紹介した現地調査を含め、実際に街を歩いてその様子を観察した結果、本対象地域の魅力は、複雑で変化に富んだ地形や自然と開発の歴史が生み出した環境構造と、そこに暮らす人々が作りだした景観要素の総合による、モザイク状の近隣構成にあることがわかった。すなわち、この地域では、隣接しつつも互いに性格の異なる複数の小区域が併存し、それらの中に独特な空間性を有する場所が多く存在している。

したがって、今後の地域づくりにおいても、比較的小規模な事業の積み重ねによって、このような多様性に基づいた地域の魅力を、いっそう高めていくことがのぞましいと考えられる。そして、そのような地域づくりを成功させるためには、現在のまちの魅力を外部にも発信して、多様な魅力づくりに関与してもらえる新たな人々を、このまちに呼び込むことがのぞまれる。

5. リノベーションによる個別更新の実践

以上のような対象地域の特性と、それをふまえた地域づくりの方針に沿って、神戸芸術工科大学では、それらの考え方を具現化するためのデザインチームをつくり、前述の不動産会社との共同で、老朽化した建物のリノベーションによる2軒のシェアハウスを実現させた。

図5のAが2012年1月に竣工した「鈴木文化シェアハウス」⁶⁾、Bが2014年5月に竣工した「禅昌寺キオスク」⁷⁾である。

「鈴木文化シェアハウス」は築後38年を経て老朽化が進んだ木造共同住宅の部分的な改修を行ったプロジェクトである。周囲は高齢化が急激に進む都市部の住宅地。2階建て全8戸のうち、空



図13 「鈴木文化シェアハウス」外観⁸⁾

室となった1階の連続する3戸を改修することになった。改修に際しては界壁の一部をなくし、集約した水廻りを設けた共用スペースと3つの個室からなるシェアハウスへと組み替えた。

また、共用スペース（シェアスタジオ）をできる限り地域に開いて、個室→シェアスタジオ→前庭→道路へと、生活が段階的にまちへとつながる工夫をした。3つの個室と前庭との間に位置するシェアスタジオの開口まわりでは、入居者である学生と隣人とのコミュニケーションが始まってお

り、高齢化の進むこの地域の生活に、活気ある空間を創出している。

木造賃貸アパートは都市への人口流入に伴い1950年代から多く建設されてきたが、その多くは老朽化を迎え、次々と建て替えが進んでいる。この巷に溢れるビルディングタイプに対し、空間構成の変更を伴う改修を提案することで、本プロジェクトは、スクラップアンドビルドに代わる、建築ストックの更新・再生に軸足を移した建築産業の新しい可能性を示している。極めて小さな空

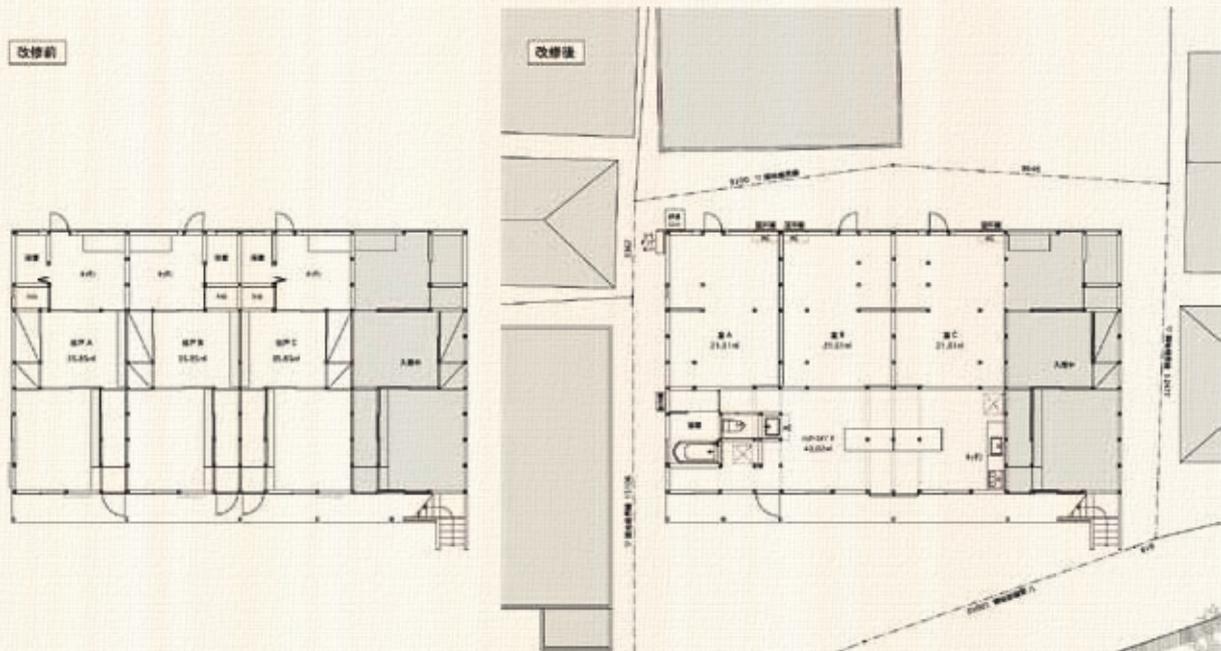


図14 「鈴木文化シェアハウス」改修前後平面図



図15 シェアスタジオ⁸⁾



図16 犬の散歩をする人々との交流風景

問的实践だが、巷に溢れる「木賃アパート」というビルディングタイプを、持続的なまちづくりにも活用できることを示し得たと考えている。

2つめのリノベーションプロジェクトである「禅昌寺キオスク」では、1階の店舗部分が長く閉ざされていた3軒長屋の西側2軒を、2階に3つの個室、1階に共用スペースを持つ若者向けのシェアハウスに改修した。

閉鎖的になっていた街角部分に開放的な休憩所を設け、外に置かれていた自動販売機も取り込ん

で、近所の人々が気軽に立ち寄ることのできるまちの「キオスク」とした。メッセージを書ける黒板壁の前のベンチはシェアハウスの居間の縁側へと続き、奥の路地空間へと連続している。上部壁面に設置した電波時計は、行き交う人々に実用情報を発信し、「キオスク」の公共性を象徴する。

シェアハウスの玄関は、ショーウィンドウもある吹抜けの土間空間とし、劣悪であった建物中央



図17 「禅昌寺キオスク」外観



図18 自動販売機と黒板のある「キオスク」

部の通風採光を大きく改善した。「キオスク」と共用スペース、そして3つの個室は、すべてこの空間を介してつながっている。若者たちとご近所の方々が、一緒に縁側で話をする姿も見られるようになっている。

高度成長期に開発された住宅地にも、住み手が半世紀にわたって作り出した生活の風景が有る。大規模な建替は行わずに各場所のコンテクス



図19 吹抜けの玄関土間⁹⁾

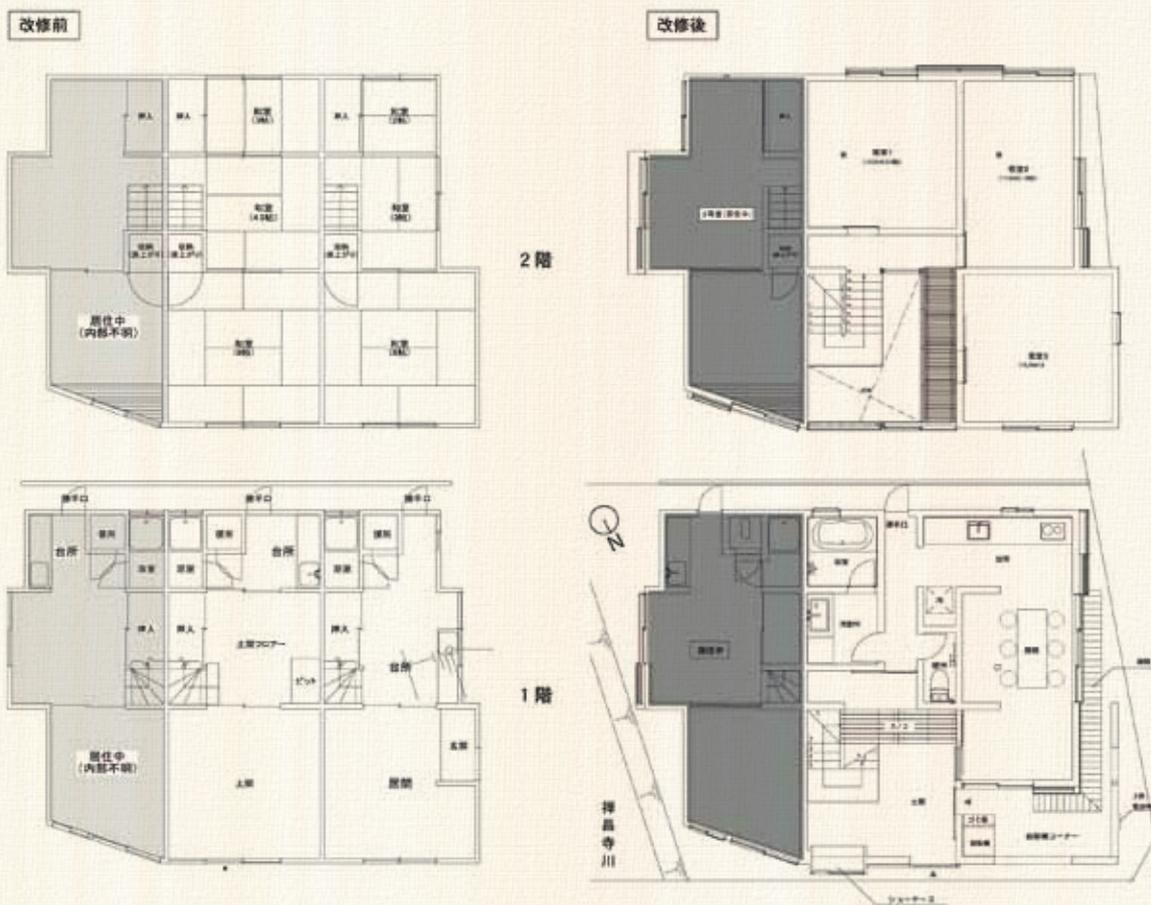


図20 「禅昌寺キオスク」改修前後平面図

トを丁寧に読み取って、それを生かした個別更新を行えば、老朽化した建物群も貴重な社会ストックとして活用できる。リノベーションによって居住性能や耐震性能を高め、若い世代を惹き付ける新たな要素も付加することで、積み重ねによる多様な魅力にあふれた地域の持続的な創造が可能になる。

以上に紹介した、「鈴木文化シェアハウス」および「禅昌寺キオスク」という2つのリノベーション・プロジェクトは、いずれも小規模ではあるが、まち全体、社会全体を射程にいられたプロジェクトであり、実際に学生たちがここに暮らすことで、近隣に対してどのような変化が起こりうるかを試してみる実験的なプロジェクトでもある。高度成長期に開発された住宅地の更新という社会共通の課題に対して、場所の固有性に着目した特殊解を提示しつつも、同時に新しいライフスタイルの創出につながるような、汎用性のある解答を導き出すことを心がけた。



図21 「禅昌寺キオスク」の共用居間から外を見る⁹⁾

6. おわりに

本プロジェクトの対象地では、リノベーションだけでなく、建て替えによる個別更新も併行して進めている。建て替えによるか、リノベーションによるかは、老朽化した個々の建物の構造面での劣化の程度、建て替えとリノベーションのコスト比較の結果などを総合的に判断して選択することになる。

しかしながら、リノベーションによる更新には、やはり様々な利点がある。一般にはリノベーションの方が建て替えに比べて低コストで済むため、賃貸住宅の場合には同一家賃で格段に広い居住面積の提供でき、空間的に豊かなライフスタイルを実現することができる。また、共同住宅や長屋の場合には、部分的なリノベーションであれば、入居者全員の移転を待たずに行うことも可能である。そして重要なのは、リノベーションであれば建物の外観が大きく変わらず、建物がまちの記憶をつなぎとめる要素として存在し続けるのを可能にできるという点である。

人口減少時代を迎えた今、過剰な住宅ストックをいかに活用すべきかが問われており、ここで紹介したような事例が、それを考える上での一助になれば幸いである。

註

- 1) 2011年5月に発足した、学識経験者や経済界、労働界の有識者を集めた政策発信組織。
- 2) 図2、図3は日本創成会議による資料をもとに作成。
- 3) 神戸市都市計画マスタープラン(平成23年3月、神戸市)の図版をもとに作成。
- 4) 本プロジェクトは、神戸市を中心に事業を展開している大和船舶土地株式会社から神戸芸術工科大学への受託研究として、2010年度以来継続的に同社と共同で実施している。
- 5) 図5は、GoogleEarthの航空写真を元に作成。
- 6) 設計：神戸芸術工科大学 神撫町・禅昌寺町プロジェクトチーム(川北健雄、花田佳明、金子晋也、金野千恵)+KONNO、事業主体：大和船舶土地株式会社。
- 7) 設計：神戸芸術工科大学 神撫町・禅昌寺町プロジェクトチーム(川北健雄、花田佳明、小菅瑠香、中村卓)+有限会社ランドサット(安田利宏)、事業主体：大和船舶土地株式会社。
- 8) 撮影：多田ユウコ。
- 9) 撮影：西澤智和。



あれから20年後の士会活動

公益社団法人 兵庫県建築士会 神戸支部

支部長 田中 義之

震災20年ということもあり、新聞等で当時の事が掲載されること多くなっていますが、その度に当時の事を思い出します。

震災時私自身は、六甲の小高い所に居住していることもあり、震災そのものの被害はほとんどありませんでした。ただ当時マンションの理事長をしていたこともあり気にかかることはありましたが、地域全体の被害がほとんどなかったため、ライフラインにかかわること以外では、特に負担になることはありませんでした。

また、士会では、支部青年部会の運営委員として活動をしていましたが、勤務がゼネコンだったため、その業務に忙殺され、事務局が遠方であったこともあり、士会へ出向くことが出来ず、士会がおこなっていた建物調査などにも一度おこなっただけで、ほとんど参加することが出来ませんでした。震災の後の新年度からは、部会長となり、活動をしました。1年目はほとんどの事業を行うことが出来ませんでした。毎月行っていた、運営会議には各委員は皆業務が忙しかったと思うのですがよく参加をしてくれました。むしろ日頃の業務の息抜きだったかもしれません。

その年の後半になると親会での震災がらみの事業が、おこなわれるようになり、青年部会でもその手伝いと、毎年発行している「パネル」も発行することができました。

それから20年。兵庫県建築士会は、2008年の

制度改革により貴協会同様、一般・公益の選択を迫られその中で士会は公益を選択しました。士会の場合は事業の内容そのものの公益性に問題はないものの、県への申請、建築士として必要な知識の習得の事業かどうかなどの説明書の作成に手間が非常に掛かりました。この作業は今後も続いていきますが、実際には継続する事業や同類の内容がほとんどなため次第にそれは軽減されています。ただ、厳密な社団法人の運営を行うための会計処理、事業の仕分け等に変な労力がかかってしまいました。特に支部においては、交付金としていたものが認められないため、支部での役員負担が、非常に大きくなりました。移行後においてもまだまだ不明なところが多く、紆余曲折、試行錯誤しながら進めている状態です。

ただ神戸支部の事業としては、以前と変わったことはなく、ただ煩雑な事務作業が加わり事業計画については、事業毎に本部とのやり取りが必要となりました。これは公益、一般関係なくどこの団体でも行わなければいけなくなったことと思います。

建設業界が長年の不況のあおりで元気がなくなって久しいのですが、どこの団体も会員の減少に苦しんでいることと思います。そういった中、現在も法規講習会など共催させて頂いているように両団体の風通しを良くし、協力し合えばよいと思います。



人間交流のネットワークを生かして 安全・安心のまちづくり

兵庫県建築設計監理協会会長

瀬戸本 淳

被災直後は交通が途絶え、電話連絡さえもままならない中、地元建築家たちがどんな状態なのか情報をつかむのに苦労しました。かなり混乱していたというのが実情です。そのなか、数人単位で何回か集まってお互いの状況を話しあえたのは、自身の心の自立という面でも大きな励みになりました。傷ついた住宅の危険度の判定や、その他の相談に対するボランティア活動にとり憑かれたように走りだしたわけですが、とにかく必死でぶつかっていきました。やがて、兵庫県建築設計監理協会の事務局に受付をおくことができ、少しシステム化されたなか、多くの市民からの要請に対処していくことになりました。ちょうどその頃、JIA近畿支部からの絶大なる支援を受け、さらに全国からも駆けつけてくれた建築家たちが、行政の要請範囲も越えた、被災者の心をもってボランティア活動を展開してくれました。建築士事務所協会と建築士会の皆様との“協働”という面も特に申し上げておかなければなりません。本当に感謝しています。

地元の市民も私たちの仲間も多数が傷つきました。生命、健康、財産、生活、都市の記憶、コミュニティが奪われ、破壊されました。それでも、専門家として市民が家に戻れるように応急修理にまわった人たち、被災度の調査活動、なれ親しんだ

自分たちの街のコミュニティの立上げ、みんなとつくる街づくりのプランニングなど、皆様はそれぞれの立場で、精一杯の活躍をしてきました。

さらにこれからは、南海トラフ巨大地震などの大規模な自然災害が予測されています。震災を経験した私たちは過去・現在そして未来に対して責任をもっていると考えられます。その中で、市民・行政と専門家との、日頃からの人間交流ネットワークの場が、減災など被害を最小限に抑える手立てや復旧方法、そして創造的復興、まちづくりなどの知恵を活かすために大いに役立っていることを私たちは身をもって知っています。

ぜひこれからも、皆様とご一緒に安全安心のまちづくり、空間づくりについて考え、活動していきたいと思っていますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



阪神大震災20年を考える

(一社)兵庫県建築士事務所協会

会長 山本康一郎

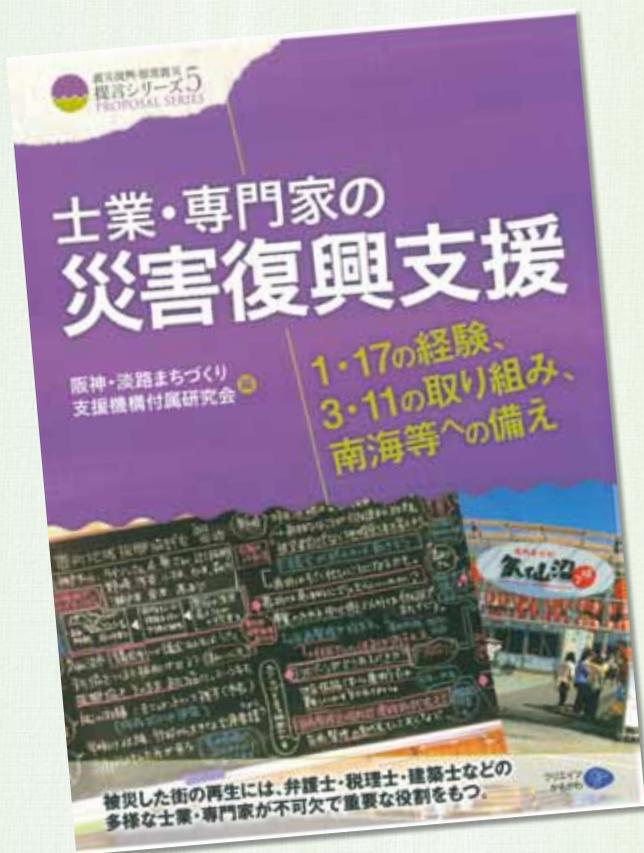
阪神・淡路大震災から早20年の月日が経ちます。兵庫県では記念事業が多く開催され、当時のことを改めて考えさせられる今日この頃であります。

兵庫県建築士事務所協会では、震災直後からその後の復旧、復興活動を精力的に行った会員の

面々は大先輩にあたり、現在の執行部メンバーを始め当時の苦労を知らない世代が大半となりました。また、当協会が行った事業は、全国に事例がなく、貴重な記録も散逸しかけ整理の必要性がありました。

昨年、阪神・淡路まちづくり支援機構付属研究会からに当協会に執筆要請があり、平成26年1月17日に出版された、「士業・専門家の災害復興支援」1・17の経験、3・11の取り組み、南海等への備えと題する図書の一部を担当する機会を与えられました。与えられたパートは、『士業が「熱き志」で変えてきたもの』であり、協会としては、“建物の耐震診断と耐震強化へ”をテーマとし、竹中郁雄副会長と分担し寄稿させていただきました。

会員歴の浅い神戸支部の皆様には、協会も会員も自らが被災者でありながら悲しみや憤りを押し殺し、建築士としての責任感、使命感によりすぐさまに復旧、復興に立ち向かった姿を継承していただきたいと思います。そして、現在とは違い携帯電話やパソコンも普及していない中、先輩諸兄の真摯な努力と知恵を学び復興に導く一助としてお読みいただけたらと思います。



建築分野

建物の耐震診断と耐震強化へ

一般社団法人兵庫県建築士事務所協会

2013(平成25)年5月22日、耐震診断・耐震改修義務化への改正法案が可決・成立しました。同年11月末には政令とともに施行され、私たちの長年の主張が実現しました。

耐震診断・耐震改修の重要性を広く国民が認識するに至ったのは、阪神・淡路大震災による甚大な被害を目の当たりにしたのが始まりです。大震災で「社」兵庫県建築士事務所協会とその会員は、自らの被災者としての悲しみや憤りを押し殺し、すくさまに復旧、復興に立ち向かいました。

今日までの18年間には、中国での四川大地震、日本では東日本大震災をはじめ多くの自然災害が起こりました。東南海地震等に備える意味においても、学び継承しなければならない事柄を中心に述べたいと思います。

1 阪神・淡路大震災からの耐震診断の取り組み

●認定建築士事務所制度と建築確認業務の迅速処理

阪神・淡路大震災に際し、「社」日本建築士事務所協会連合会(日事連)は兵庫県の災害復旧を支援するため、「社」兵庫県建築士事務所協会内に「建築復興センター」を開設しました。対策本部は、兵庫県が進める

住宅相談業務のバックアップと公益法人の立場から、行政の補完的業務等の推進に協力しようとするものです。1995(平成7)年6月から1997(平成9)年度末までの約3年間運営され、多くの成果を上げることができました。

特筆される事業に「認定建築士事務所制度」への対応があります。

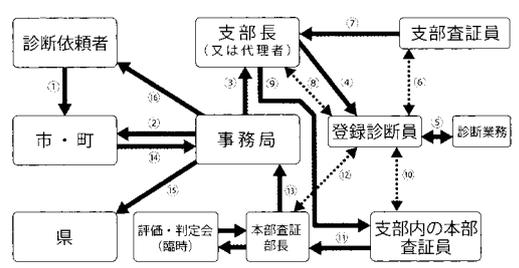
当時は、行政が建築確認申請を受け付け、建築主事が確認済書、工事完了検査済書を発行する制度でした。震災後、一時に役所に建築確認申請が殺到し、処理に遅れが生じる事態になりました。

そこで兵庫県、神戸市と協議を重ね、兵庫県は「被災市町に於ける建築確認業務の合理的処理に関する要綱」を、1996(平成8)年3月1日に施行しました(1997(平成9)年3月31日まで)。その後99(同11)年3月31日までに延長。兵庫県建築士事務所協会は、要綱にもとづき建築士事務所を認定し、認定事務所は確認業務の法令チェックを行い、工事完了時には監理報告書を建築主事に提出して、処理の迅速化に寄与しました。

この新たなシステムの創設は、建築主の立場に立ったものであり、大胆な発想と機動的な行動力による建築行政への協力で、官民一体となって取り組んだ事例の一つです。なお2000(平成12)年以降、建築確認は民間開放となり、全国に多くの民間建築確認審査機関が誕生しました。

●兵庫県・神戸市に協力した耐震診断事業

既存建築物の耐震性の向上を全国的な規模で促進していくことが急務となったことから、都道府県に対し住宅局長通達(1995年3月29日付け建設省住指発第10号)、建築物被災対策室長通達(同日付け建設省



NO	様式	枚数	部数	伝達手段	書類内訳	備考
①	各市町申込様式1	*	1	窓口申込	申し込み書、建物概要記入書	
②	各市町申込様式2	*	1	F	様式1(申し込み書、建物概要記入書)付近所取扱い及びその建物を含む一層書	(注)FAX送達の場合は、隣接モード等で字体的判読、支障を最小限にする
③	(様式1+様式2)の2+様式3	*	1	F	申し込み書、建物概要記入書、付近所取扱い	
④	(様式1+様式2)の2+様式3	*	1	F	分限又は分限無しに(申し込み書、建物概要記入書、付近所取扱い)は担当診断員に	当該業務(様式3)は自治体で配布業務数減少に
⑤⑦	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	当該業務(1)は報告書表紙の1枚を示す
⑥⑧	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	(注)様式3には支店業務行程を必ず記入
⑨⑩	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	
⑪⑫	診断報告書 W RC	B-3	3	F, E	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	Eメールの運用、他の手段により送付も可能とする
⑬	診断報告書 W RC	B-3	3	F, T	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	報告書に蓋印押印、日付記入
⑭	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
⑮	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
⑯	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
⑰	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
⑱	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
⑲	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
⑳	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉑	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉒	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉓	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉔	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉕	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉖	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉗	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉘	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉙	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉚	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉛	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉜	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉝	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉞	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㉟	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊱	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊲	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊳	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊴	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊵	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊶	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊷	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊸	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊹	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊺	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊻	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊼	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊽	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊾	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付
㊿	診断報告書 W RC	B-3	3	F	報告書、目録、エアシット、確認書シート、プランニングシート、断熱シート、その他	6欄に示す診断報告書の内の1部送付

図2 診断業務 書類フローチャート

住指発第11号)が出されました。この通達は、既存建築物の計画的な改修促進、耐震診断講習会による人材の育成、応急危険度判定のための体制の整備等を促進するよう求めたものです。

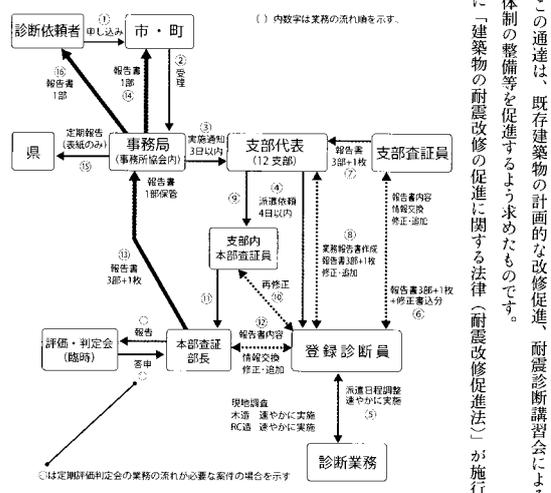


図1 診断業務フローチャート

立ち、(社)兵庫建築士事務所協会は兵庫県から協力依頼を受けて「わが家の耐震診断支援特別委員会」を設立しました。

兵庫県と事業推進会議を重ねた上で実施要領、運営方法、マニュアル、耐震診断プログラムを木造S(鉄骨)造RC(鉄筋コンクリート)造の各構造で作成し、7月に耐震講習会を開催。各構造の耐震診断員登録を行い、兵庫県下一斉に、まずマンションを対象として耐震診断を開始しました。

その後、兵庫県から依頼を受けてCB(補強コンクリートブロック)造の診断マニュアルを作成。2001(平成13)年度からは診断対象に戸建住宅を加えました。2002(平成14)年度で兵庫県下の耐震診断を終了しましたが、神戸市は2003(平成15)年度から独自で簡易耐震診断を統行し、協会神戸支部が協力して診断を行いました。

2005(平成17)年10月28日に「改正耐震改修促進法」が成立、翌年1月に施行されました。2006(平成18)年度に兵庫県は「兵庫耐震改修促進計画」を策定、2015(平成27)年の住宅の耐震化率を国の目標値90%を大きく上回る97%と設定しました。この目標を達成するための施策の一つとして、2003年度より「わが家の耐震改修促進事業」を実施し、2005年10月より簡易耐震診断を再開しました。

一方(社)日本建築防災協会では2004(平成16)年に「木造住宅の耐震診断と補強方法」を改訂し、わが家の耐震診断(簡易診断)から一般診断法へ移行しました。この変更を受け、神戸市は2005年9月より診断方法を一般診断法へ移行。(社)兵庫建築士事務所協会神戸支部が診断マニュアルを作成し、診断員講習会を開催して現在に至っています。

2 震災経験の共有化に向けて

2008(平成20)年5月12日の四川大地震から間もない9月、神戸市の姉妹都市・天津市との友好都市締結35周年を記念した交流事業で、(社)兵庫建築士事務所協会神戸支部は、神戸市での建築物耐震化の取り組みについて紹介しました。

また2011年3月11日の東日本大震災に際しては、岩手・宮城・福島の3県建築士事務所協会に義捐金を送り、「専門家集団による無料相談会」に副会長を派遣しました。

同年10月には、東日本大震災の復旧・復興状況を視察。(社)兵庫建築士事務所協会が呼びかけ、(社)宮城県建築士事務所協会役員、神戸市から仙台市に出向中の建築職員とともに、近い将来に発生が予想される南海トラフ大地震や津波等の自然災害から街を守る備えについての意見交換会を、仙台で開催しました。

さらに、協会としてもこれまでの活動記録を整理し、先輩諸兄の精神的な行動を引き継いでいかなければならないと考えています。



第2部 士業が「熱き志」で変えてきたもの 150

149 3 各分野の士業団体の軌跡

3 建物の長寿命化も21世紀の重要課題

(社)兵庫建築士事務所協会は、2009(平成21)年1月5日、建築士法に規定された法定法人となることができました。法定法人としては、建築の業務の適正な運営と建築主の利益の保護を図ることを目的に、建築士事務所開設者および属する建築士に対する研修を充実させることが課題だと考えています。

既存建物の耐震補強を推進するためには、引き続き学識経験者を交えた建築物耐震判定委員会の活動を通じて、耐震診断・耐震改修方法の技術的な研鑽を積むことは当然ですが、耐震の重要性など正しい情報で消費者との相互理解を深め、安全で安心な住まいづくりをともに担っていくことが第一義です。

新たな試みとして建物の長寿命化が、環境への配慮からも21世紀の重要課題の一つです。既存住宅の検査・診断方法を確立し、見える形で性能評価を行い、適切に改修工事を行うことで性能を向上させることが、入居者の不安を取り除くことにつながります。

このような仕組みづくりを、協会が先頭に立つて行うことが、社会から信頼を得る重要な方法と考えます。

◎阪神・淡路まちづくり支援機構

連絡先/〒650 0016 神戸市中央区橋通1-4-3 (兵庫県弁護士会館内)
TEL 078-362 8700 FAX 078-351-6651
受付 (午前9:00~正午/午後1:00~午後5:00)
ホームページ <http://www.aandl.biz/>
活動報告ブログ <http://sienkiko.blog103.fc2.com/>

クリエイティブ震災復興・阪震震災宣言シリーズ 5

士業・専門家の災害復興支援
1・17の経験、3・11の取り組み、南海等への備え

2014年1月17日 初版発行

編著者 ● ◎阪神・淡路まちづくり支援機構付属研究会

発行者 ● 田島英二 taji@creates-k.co.jp
発行者 ● 株式会社 クリエイトかもがわ
〒601-8382 京都市南区吉野石原上川原町21
電話 075 (661) 5741 FAX 075 (693) 6605
ホームページ <http://www.creates-k.co.jp>
郵便振替 00990-7-150584

印刷所 ● 新日本プロセス株式会社

ISBN978-4-86342-127-1 C0036 printed in japan

151 3 各分野の士業団体の軌跡



地震対策について考える

神戸支部賛助会幹事

北村鉄工所 北村 憲二

■ 弊社と地震の関わり

弊社は2004年に地震の影響でドアが開きにくくなる現象を緩和させる「対震丁番」を開発し、同時に「対震丁番」を使用して既存集合住宅の玄関ドアに対して地震対策を施す改修工事を開始いたしました。以降足かけ11年間で京阪神地区のみで5,000戸を超える工事実績を積み上げてまいりました。また東日本大震災以降、迅速な避難の重要性が再認識されるに伴い日本全国で同様の改修工事が増大しております。中でもUR（旧公団）住宅では2012年より全国の高層物件（約16万戸）を対象に3年計画で玄関ドアの対震化工事が行われています。このように地震災害と密接な関わり合いを持った活動の中で、私が最近思い至ったことを簡単に紹介いたします。

■ 地震対策の現状

最近商談を通じて実感するのは一般の方の地震対策の意識が確実に高まっているという点です。東日本大震災発生時、いろいろな映像で押し寄せる津波の脅威に触れることで、日本国民全員に具体的な被害想定が共有されたからだと考えております。弊社のような住環境の地震対策工事を行う業者は数多くあり、その提供サービスも多岐に亘ります。さらに非常時の携帯食料や救難器具等のサバイバルグッズも数多く販売されております。このように地震対策のハード面での品揃えは充実しており、おそらくどの製品を使ってもある程度の効果は期待できると思います。ここで私が懸念している点があります。これらのサービス・商品はお使いになられる方々が無事に避難できるための“道具”であるということです。“道具”を提供する側から申し上げますと、災害が発生する前に全員にそれらの“道具”を一度はお使い頂きたいということです。一度でも使えばその感覚は残っており、全く初めてお使いになられるよりスムーズに使えるはずですが、ところが災害発生時の状況を再現するとなると大がかりな準備が必要となり

個々の家庭に使用テストの場を提供することが難しく、現状としては“道具”を揃えているだけに留まるのが実態ではないでしょうか。

■ 「共助」体制作りの重要性

これらの“道具”は「自助」のためのものが多いのですが、災害発生時の状況によっては使用の方が負傷して、結果的に使用出来ずに避難不能状態になる可能性は少なからずあります。阪神大震災の時もそうでしたが近隣の方々が協力し合い被災された方を救助する場面は必ずあると想定すべきです。あるマンションの管理組合では組合員全員の安否確認方法や逃げ遅れた方の救助方法、負傷者の搬送方法などを具体的な被害想定のもとで対策を立案し、それを組合員全員に周知する訓練を実施されておられます。このお話を伺った時には極端な話ですがこのマンションのみなさんは全員無事に避難できると確信しました。このようにマンション管理組合単位、町内会単位などでいざという時の「共助」体制を事前に作り、1年に1度でも避難訓練を行うだけでも助かる確率は飛躍的に高くなるはずですが。

■ 建築士事務所協会の役割

管理組合や町内会は様々な生活スタイルを持った方々の集合体で、一つの目標（共助体制構築）を設定してもその捉え方が千差万別でありなかなかベクトルを合わせることが難しい団体です。強烈なリーダーシップをお持ちの理事長さんや自治会長さんがいらっしゃらないとうまく纏まらないケースがあります。そこで私の提案なのですが、マンションの大規模修繕で建築士の方々がコンサルタントとして関与され一定の方向に導かれております。それと同様に共助体制構築は「地震に強い街づくり」の一環として自治体と共同で建築士事務所協会がサポートされては如何でしょうか？非常に手間の掛かる仕事になることは明白ですがその効果は多大なものを期待出来ますので是非ご一考頂けませんでしょうか？

事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・平成26年 新年互礼会

日 時：平成26年1月10日(金)

場 所：第一楼

参加者：正会員28名 賛助会員19名 来賓6名



・第31回親睦ボウリング大会

日 時：平成26年2月1日(土)

場 所：ラウンドワン三宮駅前店

参加者：正会員34名 賛助会員13名 ゲスト2名



・第2回法規講習会(建築士会共催)

日 時：平成26年2月13日(木)

場 所：神戸市勤労会館多目的ホール

内 容：①「建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正について」

②「建築物における天井脱落対策について」

③「エレベーター等の地震対策について」

④「建築基準法集団規定の要点について」

⑤「消防法の最近の動向について」

参加者：25名(神戸支部会員)

・平成25年度 第2回役員総会

日 時：平成26年4月8日(火)

場 所：ホテルモントレ神戸

参加者：32名

・第183回KJ会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成26年4月24日(木)

場 所：城山ゴルフクラブ

参加者：9名

・第55回定時総会・懇親会

日 時：平成26年5月9日(金)

場 所：ラッセホール

参加者：28名



・第184回KJ会(ゴルフ同好会)開催 (本部親睦ゴルフコンペ合同)

日 時：平成26年6月4日(水)

場 所：有馬ロイヤルゴルフクラブ

参加者：16名

・第1回幹事会+第1回役員総会

日 時：平成26年6月6日（金）

場 所：ホテルモントレ神戸

参加者：28名



・第1回法規講習会（建築士会神戸支部共催）

日 時：平成26年9月2日（火）

場 所：兵庫県私学会館

内 容：①「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例の改正について」

②「建築基準法改正概要について」

③「近畿建築行政会議共通取扱い集について」

④「建築物の耐震改修促進について」

⑤「神戸市建築物安全安心実施計画（第4次）について」

⑥「消防法関係の最近の動向について」

参加者：神戸支部27名 建築士会59名 会員外3名



・第43回KM会（麻雀同好会）開催

日 時：平成26年6月28日（土）

場 所：平和荘

参加者：8名

・自由業団体連絡協議会合同相談会

日 時：平成26年7月19日（土）

参加者：副支部長3名

・第1回事務所キャンペーン住宅無料相談会

日 時：平成26年8月3日（日）

場 所：水道筋商店街みずほ銀行 灘支店前
（神戸市灘区水道筋3丁目）

参加者：8名



・第185回KJ会（ゴルフ同好会）開催

日 時：平成26年9月2日（火）

場 所：関西クラシックゴルフ倶楽部

参加者：14名

事業報告(定時総会・講習会・研修見学会)

・全国大会(東京大会)

日 時：平成26年10月3日(木)

参加者：7名

日 時：平成26年11月6日(木)

場 所：大阪ガス(株) 実験集合住宅「NEXT21」

参加者：6名

・第2回事務所キャンペーン

日 時：平成26年10月11日(土)

場 所：須磨区板宿本通り商店街

参加者：16名

・第2回タウンウォーク

日 時：平成26年11月10日(月)

場 所：御影・住吉界限

参加者：13名

・第3回事務所キャンペーン

日 時：平成26年10月11日(土)

場 所：第18回灘ふれあい秋まつり会場
(灘区、都賀川公園・区民センター)

参加者：3名

・第44回KM会(麻雀同好会)開催

日 時：平成26年11月1日(土)

場 所：平和荘

参加者：8名

・大阪ガス(株)「NEXT21」見学会



・第186回KJ会(ゴルフ同好会)開催

日 時：平成26年11月21日(金)

場 所：関西クラシックゴルフ倶楽部

参加者：11名



・一泊研修「萩地区・長府地区と下関」

日 時：平成26年11月30日(日)～12月1日(月)

場 所：萩地区・長府地区と下関

参加者：17名



・第1回トレッキング同好会

日 時：平成26年12月7日(日)

場 所：阪急六甲～六甲ケーブル～六甲山～有馬温泉

参加者：9名



第2回『タウンウォーク』レポート

研修部 安藤 昇

- 日時：平成26年11月10日（月） 13：00～16：00
- 場所：神戸 御影・住吉界限
- 目的：御影・住吉界限の近代建築（特に住宅）の散策をしながらの見学。未公開の藤井厚二設計旧村山邸・渡邊節設計旧乾邸の見学、ほか界限の近代住宅を外観から見学する。
- 出席者：事務所協会神戸支部12名、設計監理協会1名

講習会の様子



通常メールで、募集後すぐに定員オーバーとなり反響の大きさにびっくりしました。天候不順な日々が続きましたが、当日は、晴れ渡り暖かい日差しが阪急御影駅に前に射していました。

まず、駅近くにあるM氏邸〔大正15年 木造2階設計：小川安一郎〕の外観見学です。設計者の小川安一郎は日本にアール・ヌーヴォーを紹介した武田五一先生の薫陶を受け、卒業後の住友臨時建築部でも内装や住宅の分野で特に活躍されたそうです。木枠の窓の装飾など印象に残りました。



次に、瀬戸本淳先生設計の世良美術館の外観を見学しました。



世良美術館

それから香雪美術館へ移動します。ここは、旧村山邸。美術館の門は、西門（美術館入口）・南門・そして普段開放されない東門があります。こ



旧村山邸（非公開：香雪美術館HPに構造概要あり）書院棟

の東門に廻り、ここから中に入りました。そこには、洋館の玄関が、重厚な石張り、背の高い玄関扉（大人が立って小さく見える）等がありました。〔洋館－明治42年 地階1階レンガ造2階木造 設計：河合幾次 施工：竹中工務店〕 その北に、和館の玄関である車寄せが檜皮葺唐破風の構えで迎



洋館



茶室

えてくれました。[和館—大正時代後期 木造]
 その玄関の北に庭への網笠門(大正時代)が。ただし、屋根葺き材の桧皮を守るためシートの覆いがあり保存とはいえ異様な意匠となっている。山道を歩くように庭をめぐり開けた場所に出ると茶室 [茶室(玄庵)—明治44年 大工棟梁篤松] [茶室(香雪)—大正7年頃?] が、いつも電車の中からもめっていた、塀の向こうの林のなかになにがあるのか疑問に思っていたが、その林の静かさの中に茶室や書院が。茶室をもう少し下って焚火跡が残る開けた空間に、ここは美術館の北裏にあたる。東に書院棟 [書院棟—大正8年 木造3階建一部地下1階 設計：藤井厚二 施工：竹中工務店] が、書院棟の設計者である藤井厚二が設計した大山崎にある聴竹居も2年前にガイド付きの見学をしました。そのおり自然を利用した冷房装置があったのを覚えています。ここでは地下を鉄筋

コンクリートで造り山の傾斜を利用した書院である。見学が終わり門の外に出た途端、別世界から現実の蝉噪(セミはいませんが)に戻されたような感覚に襲われました。

ここで予定時間をオーバーしていたので旧乾邸までの大変な上り坂道を急ぎ足でのぼりました。つらい!! 途中旧山崎邸外観見学。

旧乾邸は地震後すぐに現調で隅々まで見ていたつもりだったが、今回の2度目の訪問で、意外と見覚えのない空間にでくわし新鮮でした。現調のおりに入れた地下のボイラー室には入れませんでした。そこには、外国製のボイラーが置かれていたのだが。建物を背景に洋庭で記念撮影パシャ!



旧小寺氏別邸(ヴォーリス建築設計事務所)外観見学。旧小寺氏邸は現存しないようだ。スパニッシュ調の別邸を見れば、現存しない建物は、



旧乾邸(非公開：期間限定公開が神戸市HPにて随時あり)

活動報告

規模が大きなスパニッシュ調の大邸宅なのを配布された資料でしか見れないのが残念だった。

旧武田邸外観見学〔昭和7年 木造2階建 設計：大林組（松室重光）〕 武田薬品の資料館でもあるらしいが道から眺めるだけ。堂々たる英国風ハーフトィンバースタイルの洋館。「銜艸居」（かんそうきょ）と呼ばれているらしい。

蘇州園〔昭和9年 3階建〕 現在は、ザ・ガーデン・プレイス蘇州園（レストラン・結婚会場・ラ



蘇州園

ンチもあります）として営業されている。門と庭下の道路からの眺めでの外観見学。

小原流会館〔豊雲記念館：1970 地下1階地上3階 設計：清家清〕 道路からの眺めでの外観見学。

旧大林邸〔昭和7年 RC造3階建 設計：安井武雄（大林組設計部）〕 塀の外からの観賞のため建物



小笠原会館

上部の一部しか見れなかった。

その後いろいろと建物を見ながらの散策で線路南側に南側でも2邸ほど外観見学をして解散。

ご参加のみなさま。たいへんおつかれさまでした。



企画者：研修部 戎より一言

前回は、9人と少人数でしたが、今回は募集早々17名の申し込みがあり、3日程で募集中止としました。うれしい誤算でした。御影、住吉界隈の古い住宅には皆さん関心が高いようです。3時間の行程の中に近代と現代の住宅が混ざり合い、楽しいウォーキングだったと思います。特に、香雪美術館の旧村山邸庭園見学と旧乾邸内部見学は満足して頂けたと思っています。

今回は、常連メンバーの他に新顔の方、数人の参加がありました。これからも新しいメンバーが参加されるような企画が提案出来ればと思います。又、会員諸氏の地元を見直す意味でも、それぞれの地域のウォーキングを企画されてはいかがでしょう。

最終的には、一般の方の参加が実現出来ればと考えています。

大阪ガス(株)「NEXT21」見学会レポート

研修部 安藤 昇

- 日 時：平成26年11月6日(木) 15:45~17:30
- 場 所：大阪ガス(株)実験集合住宅「NEXT21」(大阪市天王寺区清水谷町6-16)
- 講習内容：①NEXT21居住実験、設計パートナー・コンペティションの概要紹介
②家庭用コージェネレーションシステムの解説
③コンペ住戸見学(「4G HOUSE」「プラスワンの家」)
④各実験施設見学(SOFC電気・熱の融通実験、屋上緑化の取組など)
- 出席者：事務所協会神戸支部 6名

講習会の様子

昨年スケルトン・インフィル住宅として見学した部屋が「2020年の家族の家」としてコンペで選ばれた2区画のコンペ住戸の見学を行った。



「4G HOUSE」でくつろぐ

「4つの世代(Generation)、4人の女性(Girls)が暮らす住まい」部屋の中心に大きなテーブルを置き、「祖母、母、私、娘」の4人が個室を持ちここでコミュニケーションを行う。勝手口的な小荷物出し入れ戸、棚の奥の隠れ部屋のような遊びこころもある、コンパクトにまとめられた住戸でした。



「プラスワンの家」でのひととき

「1つの空間をシェアする

1.5世代の新しいマンション暮らし」

写真の廊下は2世帯をわける土間通路です。
左が主屋・右が賃貸も可能なワンルーム。
土間の格子戸を全開して1住戸で利用します。



次世代エネルギーシステムの解説(第4フェーズ実験)

- A：SOFC住戸分散設置とエネルギー融通
(家庭用固体酸化物形燃料電池)
- B：デマンドレスポンス対応と逆潮運転
- C：停電時自立システムの構築
- D：HEMSの導入
- E：再生可能エネルギーとの組み合わせ



屋上緑化で憩う

写真は住人が管理する屋上です。
70cmの土で高木が生い茂っています。
写真の手前では、すでに芋ほりが終わっていました。
鳥が仲介をしたらもう植物も育っています。

一泊研修「萩・長府と下関の旅」に行きました。

事業部 前田 由利

- 日 時：平成26年11月30日（日）～12月1日（月）
- 場 所：萩地区、長府地区研修/下関の旅
- 参加者：17名

11月30日朝8時半晴天。

新神戸に集合して、9時の新幹線に乗り、10時40分新山口到着した途端雨が降り始めました。出迎えの周防バスに乗り込み萩へ。

萩焼工房を見学したあと、牛肉の陶板焼きとおにぎりの昼食。



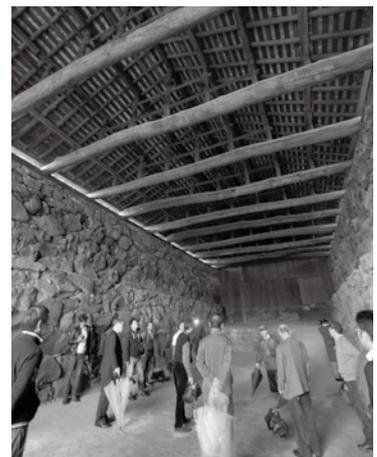
バスで浜崎地区に移動し、ガイドさんの案内で、浜崎地区を約1時間散策しました。



浜崎は、江戸時代に廻船業や生活物資の商い、水産業などに携わる人々や船大工などは多く住んでいたところで、その街並みが現存しており、平

成13年11月に重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

中でも「旧萩藩御船倉」は、石垣の上に木造の屋根がかかっている大変特徴



的な建造物で、幅8.8m奥行27mほどもあり、当初4棟あったのが、今は1棟のみ残っています。

続いて、バスで城下町に移動し、また別のガイドの案内で、1時間ほど散策。

江戸屋横丁を北上して、木戸孝允旧邸を見学。美しい町家の佇まいが残る御成道（参勤交代に使われた道）を西へ歩き、菊屋を南へ折れると白壁の美しい菊屋横丁。高杉晋作誕生地を見学しまし



た。夏みかんが至るところに植えられていましたが、これは、武士の家計の支えとして植えられたものだそうです。



そのあと、一路下関へ向かいました。

夕食は、下関名物のふぐ料理に舌鼓。ひれ酒で大いに盛り上がりました。宿泊は東急イン。

2日め。朝8時半に出発。関門橋の見える唐戸市場へ。市場でお土産やふぐの宅配を注文する人と、レトロ建築を見学する人に別れて行動しました。



日本で最初に屋上緑化をした、旧秋田商会ビル、現役の南部町郵便局、旧英国領事館などを見学。

時間が足りない思いでバスに乗り長府へ。

水辺に合鴨がゆったりと過ごす壇貝川



に沿って北上。途中、長府藩侍屋敷長屋という農作業の小屋を見学。紅葉のきれいな、国宝功山寺へ。軒が大きく反って特徴的。長府毛利邸の玄関前を見学してから、古江小路を散策。石垣の上に赤土でできた壁が連続して、美しい町並みを作っています。



再びバスにて関門海峡を渡り、門司へ。途中壇ノ浦パーキングエリアで、景色を眺めるも、強風と寒さで外にいられないくらいでした。

門司について旧三井倶楽部で名物焼きカレーとエビフライのランチ。その後、自由時間でレトロ建築など強風と戦いながら散策しました。



小倉15時発の新幹線に乗

り、17時に新神戸につきました。雨と風の洗礼を受けた1泊2日、なんとか終了！参加者のみなさんお疲れさまでした！



第31回親睦ボウリング大会

平成26年2月1日(土)



●個人総合の部

優勝	鷹取 憲一(神鋼不動産株)
準優勝	宮本又規子(創企株)
第3位	橋本 昌和(神鋼不動産株)

●個人女子の部

優勝	宮本又規子(創企株)
準優勝	塩田加奈子(神鋼不動産株)
第3位	川崎 好美(株川崎設計)

参加者名簿及び組み合わせ表

レノ	氏名	事務所・会社名	レノ	氏名	事務所・会社名
26	中島 哲	(株)盤設計	33	柏本 保	(株)アーキノヴァ設計工房
	福富 直子	〃		尾添 泰弘	〃
	福富 潤一	〃		庄本 健人	〃
	福富 瑠依	〃		藤谷 章	エスケー化研株
27	福富 緒乙	(株)盤設計	34	岡本 季雅	菱電エレベータ施設株
	藤塚 琳久	朝日共同設計(有)		野村 幸治	〃
	谷 祐太郎	〃		野中 昇	〃
28	谷 由佳	朝日共同設計(有)		川上 雅史	〃
	藤塚 奈央	〃	35	井川 和幸	神鋼不動産株
29	高田 昌之	朝日共同設計(有)		鷹取 憲一	〃
	高田 典子	〃		橋本 昌和	〃
	今田 貴光	(株)神戸清光		塩田加奈子	〃
30	川崎 史	(株)川崎設計	36	村瀬 剛	吉野石膏株
	川崎 好美	〃		平川 雅勝	創企株
	川崎 敏嗣	〃		平川 喜則	〃
	川崎衣里永	〃		平川 達也	〃
31	北村 憲司	(株)北村鉄工所	37	平川 明宣	創企株
	太田 恵一	〃		有本 健吾	〃
	富山 靖久	〃		肥田木義信	〃
	内田 俊治	〃	38	芳野 美香	創企株
32	北風 雅頌	北風建築設計事務所		宮本又規子	〃
	谷向 康裕	文化シャッター(株)		富永 紘子	〃
	山本 修	〃		横山 千尋	〃
	安藤 昇	伊丹工房			

同好会だより

●KJ会 (ゴルフ同好会) 【会長：為金清人 幹事：水野政博、八木啓祐】

ゴルフ同好会は、雨にも負けず風にも負けず、楽しくコンペを行っています。ゴルフを始められた方、久しぶりにプレーしたい方、新しく入会された方々も、ご連絡をお待ちしております。

第171回より新世話人により運営をおこなっています。引継ぎ宜しくお願いします。

◆第184回 H26.4.24 (城山ゴルフクラブ)
..... (参加者9名)

優勝	2位	3位
為金 清人	北村 憲司	川崎 史

◆第186回 H26.11.21 (関西クラシック)
..... (参加者11名)

優勝	2位	3位
北村 憲司	小坂 雅生	狩野 誠

◆第185回 H26.9.2 (関西クラシック)
..... (参加者14名)

優勝	2位	3位
北村 憲司	為金 清人	川崎 史



●KM会 (麻雀同好会)

【幹事：前田進一】

麻雀同好会は娯楽を目的に楽しく開催されており、久しぶりに麻雀される方が多数ですので麻雀の初心者などもご遠慮なく参加してください。



◆第43回 H26.6.28開催.....参加人数8名

優勝	準優勝	3位
植松 實	元吉 悟	前田 進一

◆第44回 H26.11.1開催.....参加人数8名

優勝	準優勝	3位
植松 實	前田 進一	元吉 悟



同好会だより

●第1回トレッキング同好会【会長：柏本 保 幹事：前田 信行】

この度、柏本支部長他、一部会員からの切望もあり、トレッキング同好会を起ち上げ、12月7日（日曜日）記念すべき第1回のトレッキングを行いました。初心者の参加を考慮し、阪急六甲を出発し六甲最高峰から有馬温泉を終着とするルートを描画してみました。当日は素晴らしい天気にも恵まれました。9：00阪急六甲に参加者9名が集合後、バスにて六甲ケーブル駅に到着。予定より一本早いケーブルカーに乗車できましたので、ケーブル山頂駅到着後、サプライズで「保壘岩」と言うロッククライミングのメッカの岩場に寄り道し、絶景と少しのドキドキを体験して頂きました。本来の計画ルートに戻り、薄っすらと雪が積もる中、六甲山ゴルフ場を通過し、「みよし観音」像を經由し、11：00六甲ガーデンテラス展望台で大阪湾から瀬戸内海に至る眺望を楽しんだ後、六甲最高峰を目指しました。道中はアップダウンが厳しく、一般ドライブウェイを横切ったり結構きついルートでしたが、12：10六甲最高峰に無事到着。各自、思い思いに用意したお弁当



六甲ケーブル



六甲ケーブル山頂駅

をを広げ待ちに待った昼食です。とても穏やかな天気にも恵まれとても楽しいひと時となりました。13：00前に最高峰を出発し、魚屋道（ととやみち）を下り有馬温泉へ向かいます。この道は昔、有馬には湯客の膳に鮮魚を届ける六甲越えの魚屋がいて深江や青木の浜からこのような最短の道が通じていたようです。この道をひたすら1時間半ほどかけて下ります。途中、今秋の台風による豪雨被害で何カ所かは崖崩れを起こしているところもありましたが、無事、有馬温泉へ14：30頃到着。「かんぼの宿」で温泉に浸かり疲れを癒した後はホールにて無事感謝し「ぷっしゅー！」そして、反省会、次回開催の打合せ、それぞれ有馬の温泉街を散策後、16：00解散となりました。本企画を通して改めて会員同士の情報交換、親睦を深める事が出来ました。次回は春頃に開催できればと思っています。本同好会は入会の手続きはありません。所員の方、家族の方等、是非お誘いの上、多数の参加をお待ちしています。



みよし観音

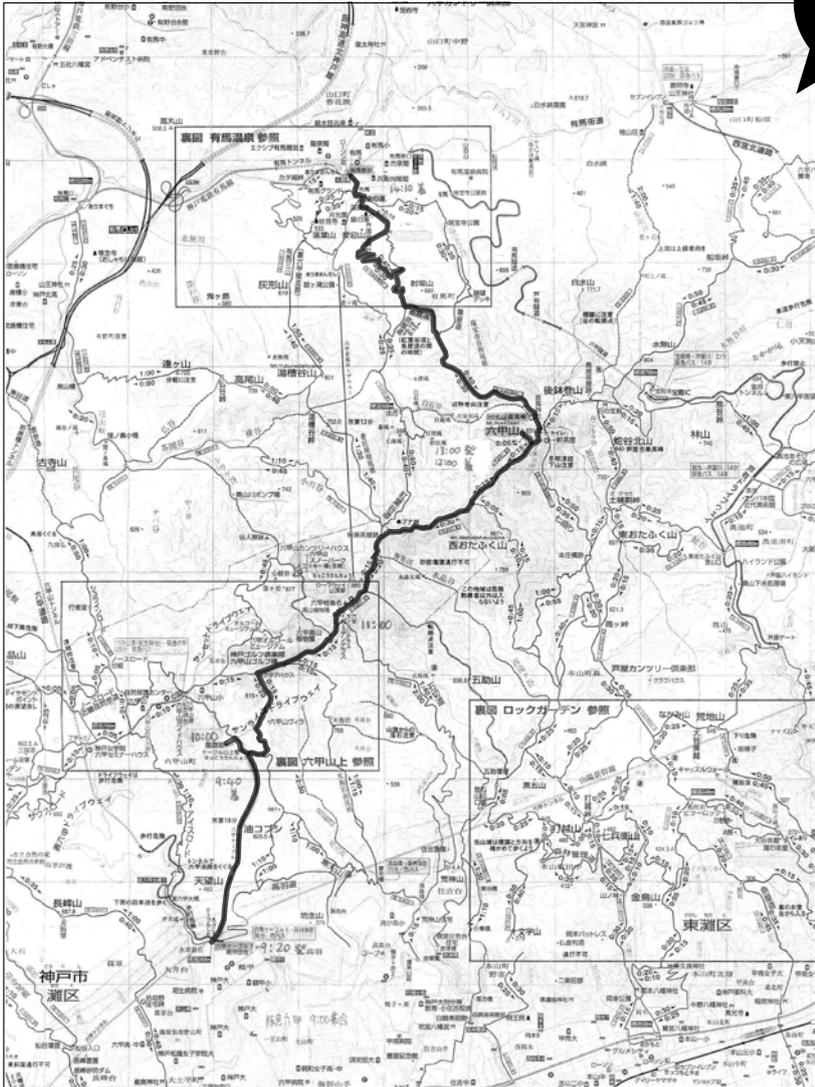
平成26年12月6日トレッキング同好会参加者名簿

(順不同・敬称略)

番号	事務所・会社名	出席者名
1	前田信行一級建築士事務所	前田 信行
2	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保
3	徹建築設計事務所(有)	岡田 徹
4	(株)サンゲツ	瓦口 賢志
5	(有)一級建築士事務所 アトリエフォルム	吉田 文男
6	同上	吉田 珠江
7	一級建築士事務所 (有)未来工房	小村 敏夫
8	菱電エレベーター施設	岡本 李雅
9	一般参加	田村 一雄



トレッキング
ルート



山頂駅展望台



保塁岩にて



有馬温泉街

トレッキング同好会の立ち上げについて

神戸支部トレッキング同好会・会長 柏本 保

昨年神戸支部の正会員・賛助会員の親睦を図る目的の一環として、トレッキング同好会を立ち上げました。最初はマラソン同好会の立ち上げも頭をよぎったのですが参加者が私一人になる可能性が高い(?)ので、最終的にトレッキング同好会に落ち着きました。

ちなみに事務所協会本部においても、12~13年前私が総務部長を仰せつかっている時にトレッキング同好会を立ち上げ、大山や雪彦山など本格的な山にも挑戦、四国八十八ヶ所のお遍路さんのコースも11番目まで廻りました。多い時には40名前後の参加者があり、約2年間活動しましたが、やや本格的になりすぎたきらいもあり、約2年間の活動で幕を閉じました。

今回の同好会の立ち上げは当時の反省もあり、『初心者・小学生の高学年でも気軽に参加できるようなコース設定』を前提とし、あくまでも参加者が無理なく楽しめ、最終的においしいお酒も飲める同好会にしようという趣旨での立ち上げとなりました。

第1回目は支部行事等の関係もあり、12月7日と比較的寒い時期での開催となり、参加者の確保が懸念されましたが、合計9名の参加と程よい人数となりました。初回としては思いの外充実した楽しいトレッキングとなり、今回の参加者も早期の次期開催を望んでおり、初期の目的は果たせたかなと自負しております。

大規模修繕工事における屋上防水改修のポイント

関西塗研工業株式会社 藤田 秀人

大規模修繕工事を行う上で安全や品質は当然の事ながら、瑕疵保証やアフターメンテナンスも重要です。特に、屋上防水等については長期保証を施主様とお約束する訳ですから、非常に重要と考えます。結果、仕様選定を行う段階で、十分な知識と理解力が必要となります。今回メーカー様の研修会に参加させて頂き、勉強させて頂いた事を書かせて頂きます。

『建物の長期保全の為の防水改修ポイント』について

- ①現在の防水層の状況を理解する事(どの防水工法が使われているか?どんな劣化が発生しているか?)
- ②下地条件を考える事(撤去工法・かぶせ工法・下地との相性など)
- ③下地条件にあった最適の納まりを考える事

上記①～③の条件を考慮した上で改修方法の判断(～改修3工法～)を行います。

『改修方法の判断(～改修3工法の比較～)』について

改修3工法として<<撤去工法>>・<<かぶせ(再生)工法>>・<<機械的固定工法>>があります。上記の3工法の判断基準については、以下の通りとなります。

	撤去工法	かぶせ(再生)工法	機械的固定工法
解説	既存防水層を全面撤去し、新築時の下地に新規防水層を施工する	既存防水層の不良部のみを撤去し、適切な下地処理を施した上で、新規防水層をかぶせて施工する	かぶせ工法の一つ、既存防水層の上から、下地に穴を開けて新規防水層をアンカー固定する
騒音	既存撤去の際に騒音、振動が発生	騒音、振動は少ない	アンカー固定の際に騒音、振動が発生
工期	撤去工事期間分、工期が長引く	撤去工法に比べ、工期短縮が可能	撤去工法に比べ、工期短縮が可能
コスト	撤去工事、廃材処分費の計上が必要	撤去工法に比べ、安価	下地処理が簡略化できるため、安価
作業	廃材搬出等、周辺に対し危険作業がある	周辺環境に対し安全性が高い	周辺環境に対し安全性は高いが、騒音が発生
養生	撤去後、防水層施工前の漏水への配慮が必要	既存の防水性能が期待できる	既存防水層の機能が完全に失われる
環境	撤去廃材は産業廃棄物に該当する	産業廃棄物が少ない	産業廃棄物が少ない
新規防水	さまざまな工法の選択が可能	既存と新規の防水材料の相性を考慮する必要あり	ALCなど下地構造の問題を除き、既存防水層との相性を考慮せず、採用が可能
考察	既存防水層が撤去すべき状況の場合は、撤去工法を採用しながら、次回改修時にはかぶせて改修可能な仕様を選定するとメリットがある	既存防水層を再度下層防水層として利用しながら新規防水層を形成するため、信頼性、耐久性が高い、現在の防水改修の主流	既存防水の状態が非常に悪い場合は、メリットあり、次回改修は原則撤去工法とする

以上が、基本的な大規模修繕工事における屋上防水改修のポイントではないでしょうか。大規模修繕工事は、施主の皆様のご大切な資産をお守りする事が非常に重要となります。施主様とのトラブル等を回避する為にも、是非この機会に屋上防水改修工事ポイントを再確認して頂ければと思います。御一読されておられます皆様には基本的な知識となる事になりますが、何卒ご理解ご了承下さい。

阪神淡路大震災20年神戸から元気を!!

大創建設工業 株式会社 浅井 嗣 也

阪神淡路大震災から、早くも20年あっという間に過ぎ、街の風景も徐々に変化してきました。私も被災者の一人です。

当時幼かった子供2人も今や成人を過ぎ社会人とし頑張っています。

私の会社は、山留・杭の施工業者です。

震災直後、建物の倒壊現場を目の当たりにした光景を回想した時

建物の重要な礎となる杭工事に携わる者の一人として改めて基礎工事の重要性を再認識する所存であります。

神戸中心に発達した工法に、アンギュラス工法（ラフタークレーンにオーガーを装着して掘削する工法）と、言う工法が、あります。神戸地区で多い砂礫層に適した工法です。

大型の三点式杭打機では施工出来ない狭所でも施工可能です。神戸発信で、関西地区で主に施工されています。不死鳥の如く甦り、復興して行く街並み、人々の逞しさは、我々に希望と元気を与えてくれます。負けへんで、頑張ろう神戸。

神戸発信で元気神戸をアピールして行きましょう。

神戸発信で元気神戸をアピールして行きましょう。



● 灘区住宅無料相談会 ●

第6回建築士事務所キャンペーン

日時：平成26年8月3日（日） 10：00～15：00

場所：水道筋商店街みずほ銀行 灘支店前（神戸市灘区水道筋3丁目）

灘区地区別連絡協議会担当 成瀬 秀一

主催 （一社）兵庫県建築士事務所協会神戸支部灘区地区別連絡協議会・兵庫県土建一般労働組合灘支部

後援 灘区役所・灘消防署・灘区社会福祉協議会・水道筋商店街協同組合・神戸市すまいの安心支援センター

水道筋商店街での住宅相談会の開催は今年で6年目6回目の開催になります。

今年は、自由民主党衆議院議員の盛山正仁先生の訪問もあり、盛大に開催することが出来ました。

アンケート結果(27件)

1. 年代

20才代	1人
30才代	2人
40才代	3人
50才代	0人
60才代	8人
70才代	8人
80才代	4人
90才代	1人

2. 地域

灘区内	19人
神戸市内	3人
市外	0人
未記入	5人



住宅相談 建築士



住宅相談 建築士+宅建

3. すまいで気になることは？

シロアリ	2人
雨漏	3人
防犯対策	3人
耐震・防災対策	4人
バリアフリー	2人
経年劣化	1人
補修	2人

4. リフォームにいくらかけられるか？

50万円以下	5人
50万～100万円	3人
100万～500万円	2人
500万～1000万円	0人
1,000万円以上	0人
その他	4人

5. 信頼できる業者はいますか？

自宅を建てた業者…………… 4人
知人・身内…………… 7人
地元の建築業者…………… 4人
大手建築業者…………… 2人
その他…………… 2人



住宅相談 調査士

6. 住宅相談会を行なうのにはどこがよいか？

役所（区・市）
市の施設
銀行
イベント会場
地域の会館
商店街
地元のスーパー
ハウジング・センター

7. 当日の状況

・兵庫県自由業団体合同相談会（弁護士・公認会計士・司法書士・行政書士・不動産鑑定士・税理



住宅相談 建築士

士・土地家屋調査士・弁理士・社会保険労務士・建築士の10業種の専門家が一堂に会しての相談会が、7月19日に神戸市勤労会館で開催されて、好評のうちに幕を閉じた。是非とも灘区においても同様の相談会を開催したいと思い、土地家屋調査士2人、宅地建物取引主任者2人に参加して頂き、ここに来れば住宅問題が解決できるという「ワンストップ相談会」の縮小版の開催を試みた。

- ・2階屋根修理の相談があった。屋根修理について説明をしたが、㎡数が不明な事もあり、家族と相談の上、チェックシートに記載されている連絡先に連絡するように勧めた。
- ・竣工S52年・木造2F建・20坪、地震で自宅が半壊。屋根の葺替など行ったが、高額な費用を取られた。改修したいが、どこに相談すれば良いか不安である。相談後に耐震診断を勧めた。



参加団体の神戸市社会福祉協議会＋ふれあい工房

8. 今後の取り組み

アベノミクスで公共投資が増加したが、TTPが始まれば、外圧が働き、外資の企業が公共事業とへ参入してくる。その影響で行政関連での仕事量の減少が伺われる。そこで外資の企業の参入が難しい民間への業務拡大の必要性が増してくる。

相談会は、6年も同じ場所で開催しているので、地元選出の国会・県会・市会の先生方には認知して頂いており、時間があれば顔を出していただいているが、地元住民への認知度は低い。

民間で我々、事務所協会を活用して頂くためには、知って頂き、信用して頂き、地元が潤う事が必要である。

知って頂くためには、こまめに宣伝を行なう事と、地元で活動している自治会等への働きかけも必要になってくる。



兵庫県土建一般労働組合 灘支部 親子木工教室

信用して頂くには、神戸市・灘区など行政機関とともに事業をしていることをアピールして信用してもらう。

今年1月29日に、本部と神戸信用金庫とのローン金利の優遇事業が開始された。

水道筋商店街の住宅相談会場の近くに神戸信用金庫の西灘支店がある。事業開始を機に、来年度、水道筋で開催される相談会への協力を申し出た。西灘支店及び、石屋川支店とも前向きに検討したいとの回答を頂いた。



灘区社会福祉協議会+ひらめの家

金融機関に参加して頂けるという事で、信用度も向上するが、喜んで参加協力して頂ける企画をするという課題が出来てきた。

信用して頂くという事では、神戸信用金庫の広告を表に、神戸支部の広告を裏に印刷して共同でチラシを作成する。信用金庫の各支店に置いて頂ければ、来店者に対して事務所協会会員を知りきっかけができ、活用して頂く事につながる。また会員の事務所に置いて頂くと、来客者に対して、金融機関のチラシに事務所名が載る事で信用度が増す。また、信用金庫の商品を使って頂く可能性も出てくる。両者の利益につながる施策になると思うので、神戸支部と神戸信用金庫の了承を得て、ぜひとも実現したい。



盛山先生の表敬訪問

地元が潤うためには、地産地消を進める必要がある。地元の業者が連携を取り、信用度を高め、地元のできる作業は、東京資本の企業ではなく、地元の業者を活用してもらう。地元で仕事が増えれば就職で転出する学生の流失も防げる。須磨区が対象になり問題になっている消滅可能性都市への回避にもつながる。地元から東京に流れるお金を少しでもくい止めて、地元の業者には地元でお金を落としてもらう。地元でお金を循環させて、まちの活性化を図る。協力者を増やし、少しずつ規模を拡大し、負のスパイラルからの脱却を図る。売り手よし、買い手よし、地域よし、三方よしの、地域に根差した活動をして行く必要がある。

●神戸市すまいの安心支援センター共催セミナー●

第18回 灘ふれあい秋まつり

日時：平成26年10月11日（土） 10：00～15：00

場所：都賀川公園・区民センター（神戸市灘区神ノ木通4丁目・千旦通4丁目）

共催セミナー担当 成瀬 秀一

今回は心配されていた台風の影響もなく、晴天に恵まれ、暑いぐらいの陽気のなかでの開催となりました。

灘区でのまつりを利用して地元の方々に事務所協会を認知して頂き、信用して頂き活用して頂く。行政の推し進めている事業に対して協力し提案していく。

行政と地元に対して会員へのビジネスチャンスをつくり、会員の増強に繋げていくことを目的として開催しました。



灘区長のあいさつ

活動する場所については、事務所協会が、担当して区役所と打ち合わせをしました。ステージ近くで人通りの多い場所を頂けましたが、出展者が多く作業スペースがテント一張分しか確保できずに狭く、すまいるネットさんからは3人、事務所協会からは3人の参加となりました。同日・同時刻に、板宿商店街でも建築士事務所キャンペーンが開催されており、柏本支部長には午前中は灘区で、午後からは須磨区と掛け持ちでの参加となりました。

会場内での耐震普及活動は、昨年と同様で、ア



全景

ンケートに答えていく過程で、地震について考えて、関心を持ってもらい、アンケートを通じて、すまいるネットが行なっている耐震事業を知って頂き、改修工事に結び付けていくという方法で、アンケートに答えた方がゲームに参加できるというものであります。



ゲームは、黒ひげ危機一髪の改良型で、樽に剣を刺していき4本を刺し終わるまでに、神戸市の耐震キャラクターであるオキールファミリーの博士が飛び出せば当たりというものであります。



すまいるネットのキャラクターグッズ

既存のキャラクターである黒ひげを、オキール博士に変更するにあたっては、人形の作成や飛び出す仕掛けの、かみ合わせ部分など、大変苦労されたようですが、苦労の甲斐もあり、キャラクターのかわいらしさと、いつキャラクターが飛び出すかの、ハラハラドキドキ感が相まってお子さんには大変好評でありました。

景品は、当たりを20セット、はずれを100セット、すまいるネットさんに用意して頂きました。当たりは、神戸市の耐震キャラクターが描かれたもので、メモ帳・ボールペン・クリアホルダー・バッチ・ハンドタオル・救急絆創膏・エコバックの7点セットで、はずれの中身も神戸市の耐震



ゲームに参加する灘区長



会場風景

キャラクターのボールペンとシールが入っており、はずれであっても喜んで受け取っていただきました。耐震診断の資料が景品とともに、ビニールで透明な手提げの袋に入れられており、持ち帰る際にも人目に触れて宣伝になるという、すまいるネットさんの工夫の跡が見受けられました。



神戸市すまいるの安心支援センターによるゲーム

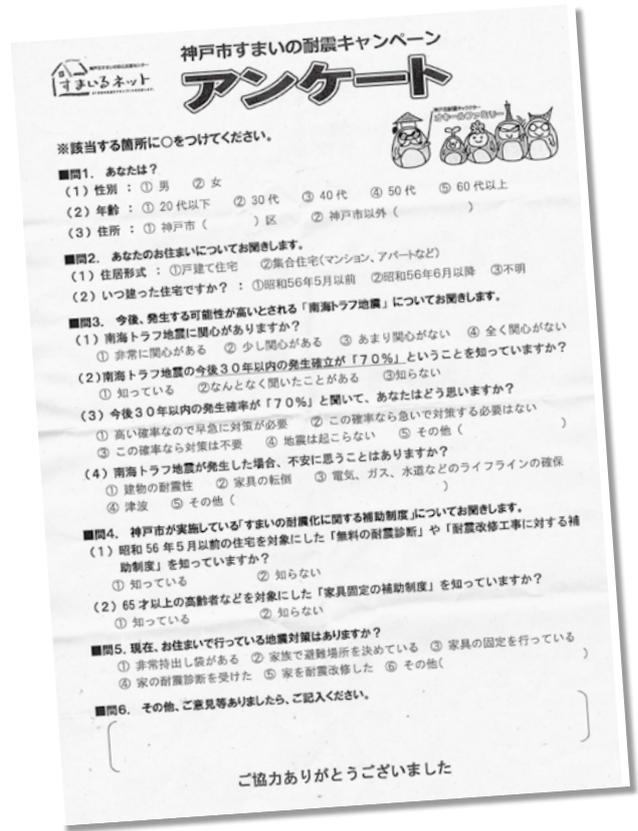
今回は、区長にもゲームに参加して頂きましたが、残念ながら結果は、はずれでありました。区長にも、はずれである透明の袋に入った耐震診断の資料を会場内で持ち歩いていただいたので、何を持っておられるのかと興味を持たれた方もおられ、区長にも耐震の普及活動に一翼を担って頂きました。

本格的な耐震診断の相談はありませんでしたが、アンケートを記入して頂いているときに、8人の方から家具固定への質問がありました。ゲームで持ち帰る資料の中に書かれてある家具固定の

説明と、すまいるネットの連絡先を伝えました。すまいるネットさんから、何人が集めて頂ければ、すまいるネットから説明に伺うという回答も頂けました。

すまいるネットさんが用意された耐震グッズ入り耐震パンフレット120部すべてを時間内に配布することができ、神戸市が推し進めている耐震の普及活動は、無事に終了することが出来ました。

現在、建築士向けの入会案内のチラシはあるが、地元で会員を活用して頂くためのチラシはない。地元住民に向けたチラシが必要であり、チラシを受け取ってもらえるグッズの必要性も感じる。昔、耐震診断事業を始めた時に、仕事につながると会員が増えてと聞いています。会員増強には、会員になれば仕事につながると思えるような、施策の検討も必要であると考えます



アンケート記入風景



会場風景



アンケート記入風景



アンケート記入風景

● 建築士による住宅無料相談会 ●

平成26年度建築士事務所キャンペーン

日時：平成26年10月11日（土） 11：00～17：00

場所：板宿商店街内（神戸市須磨区前池町2丁目）

副支部長 藤澤 利行

平成26年10月11日（土）、会場は昨年と同じ「板宿商店街」の一角ですが、今年は“板宿フェア”の開催と合わせて建築士事務所キャンペーンを開催いたしました。



前日の夕方には、多くの会員・賛助会の方々にお手伝いをいただきました。

当日は、朝から暑くも寒くもなく、天候に恵まれました。神戸市・神戸市住まいの安心支援センター・板宿商業連合会の後援を頂き、「信頼のあかし 建築士事務所協会～阪神・淡路大震災から20年 安全・安心なすまいをもう一度見直しませんか？」をテーマに、マンションの大規模修繕工事、住まいの耐震補強・省エネルギー関連・バリアフリー・リフォーム・シックハウス等建築全般に

関する相談会（無料）とパネル展示、会員作品展を行い建築士の必要性を啓蒙し、今一度、建築士による「建築設計・工事監理」がいかに大切かを市民の皆様様に理解していただき、建築士を身近に感じてもらいたく開催いたします。

会場は、商店街のアーケードの下の道路上で支部会員の建築作品パネル、耐震金物、建物補強パネル、欠陥住宅のパネル、各種パンフレット等々を展示、配布をし、昨年好評でした写真フレームの製作を建築相談・アンケート記入等の子供たちの待ち時間と利用して、賛助会員の方々の協力を頂き開催し、たくさんの皆様様に立ち寄って頂きました。

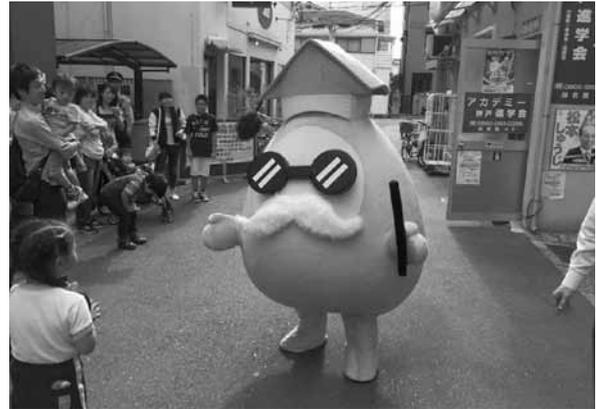
朝一番の設営時には商店街と多少のトラブルはあり、如何なることかと心配しましたが、用意した写真フレームも昨年を上回る数が出ましたし、オキールファミリーのグッズや賛助会員の方々から協賛いただきましたグッズも全て配布できました。

今回は、“板宿フェア”の中での開催でしたので新バージョンのオキールファミリーの博士以外の着ぐるみとも共演でき、子供たちや若い女性の方々は大喜びで、知名度が多少は上がったかなと思われます。



今年は、久々に賛助会用の展示ブースも復活させてみましたが、次回の開催ではもっと充実した展示ブースを考えるべきと反省しました。

これからも設計事務所キャンペーンや、耐震キャンペーンなどを通じて、無料耐震診断制度、家具の固定、補強金物や耐震補強工事の説明、省エネルギー住宅の必要性の理解などを行い、このような催し物の回数や場所を少しでも増やし、わ



れわれ建築士事務所が身近な存在である事のアピールなど、地道な努力と建築に関する他の団体との協力が大切かなと感じました。

最後の、開催の準備・運営にご協力いただいた会員・賛助会員並びに関係各位に心より御礼申し上げます。

お疲れ様。

平成25年度 事務所キャンペーン アンケート集計結果 平成26年10月11日(土曜日)

年 代		お住まいは？		構造は？	
10代	2人	1戸建て	47人	木造	24人
20代	3人	マンション	42人	鉄筋コンクリート	40人
30代	20人	アパートなど		鉄骨造	10人
40代	15人	回答なし	3人	回答なし	19人
50代	9人				
60代	22人				
70代	14人				
80代	6人				
回答なし	1人				

リフォームにかけられる金額は？				すまいで気になることは？	
5-10万	6人	150-201万	15人	耐震防災対策	14人
20-30万	12人	300-401万	6人	経年劣化に伴う補修	16人
50-70万	6人	500-701万	2人	バリアフリー	8人
80-100万	7人	10001万	2人	防犯対策	8人
		回答なし	36人	プチリフォーム	7人
				雨漏り	3人
				シロアリ	3人

信頼できる業者はありますか？		住宅相談会を行うのはどこがよいか？			
自宅建築	9人	商店街・ショッピングモール	4人	住居の近く	
地元業者	14人	アクセスの良い駅近く	2人	専門業者	
大手建設	10人	自治会館	1人	電話相談	
身内知人	19人	区役所	8人	HDC	
その他	21人	子供の遊べる近く	1人	こういう機会はない	

● 建築士による住宅無料相談会 ●

建築士事務所キャンペーンに参加して

日時：平成26年10月11日（土） 11：00～17：00

場所：神戸市須磨区 板宿本通商店街

菱電エレベータ施設株式会社 神戸営業所 岡本 季雅

平成25年10月11日（土）神戸市須磨区の板宿商店街にて（社）兵庫県建築士事務所協会神戸支部主催のキャンペーンが開催され、賛助会員である私達、菱電エレベータ施設株式会社も参加させていただきました。昨今、商談引き合いが増えている当社が販売を扱っているホームエレベーター（個人住宅用）＆小荷物専用昇降機（リフト）などの各カタログ配布及びポスターによるPR活動を行いました。また、この日は商店街のイベント（板宿フェア）も同時開催されており非常に賑わっていました。買い物のお帰りに立ち寄ってもらっ

て展示品を見てもらったり、同賛助会員であるLIXIL様が子供向けにフォトスタンド制作ブースを設置されていたので子供連れの家族で楽しんでもらったりしました。今回もキャンペーン内容は建築耐震診断の無料相談会との事で多くの方々が相談に来られました。なお、建築士の先生方もいろいろな対応（相談）に追われる中、夕方まで時間があつという間に時間が過ぎてしまいました。最後に、今後より多くの賛助会員も参加をして正会員の先生方達と共に引き続きPR活動を行っていきたいと思いました。



建築士事務所キャンペーンに参加して

日時：平成26年10月11日（土） 11：00～17：00

場所：神戸市須磨区 板宿本通商店街

エスケー化研(株)神戸支店 藤谷 章

平成26年10月11日（土）に板宿商店街にて、（一社）兵庫県建築士事務所協会神戸支部主催のキャンペーンが一般の方々向けに行われ、賛助会である弊社もご協力させていただきました。自立式パネルには、住宅塗替えの案内・窯業系サイディングのデザイン系塗替え・御影石や砂岩石調のシート建材の展示をさせていただき、一般の方からもご相談を頂戴しまし



方が近寄ってきては握手をしたり写真を撮ったりと大変喜んでもらえました。今回、オキール博士の着ぐるみが新しいタイプに変わっており、保存状態ではしぼんでいて着用時に扇風機で内部に風を送り込む方式でオキール博士が誕生するという持ち運びに便利な仕組みになっていました。以前と比べ柔軟性があり、ジャンプや踊りなどしやすく、中が涼しいので着心地が良かったです。外の様子を見る開口が以前より小さく且つ頭を固定するヘッドギアがずれるので度々前が見えなくなるところと、オキール博士の名前を知ってもらうためにも名札は必要ではないかというところを次回に向けご一考いただければ何よりです。

た。今年もLIXIL様が写真フレームのモザイクタイルデコレーション企画を用意され、テーブルにはたくさんの方が集まり楽しまれていました。

また当日は「いたやどフェア」の催しで神戸市消防音楽隊や、はばタン・すまぼうのパレード、バグパイプの演奏など大変にぎやかな商店街となり、建築相談コーナーでも建築士の先生方が多く一般の方と親しく話されている様子が見られました。

私の役目として例年通り『オキール博士』の着ぐるみを着て頑張りました。子ども達や保護者の

これからこのようなキャンペーンを実施することで、建築士事務所協会がより多くの一般の方に知れ渡り、建築士の先生方へ相談しやすく親しみやすいと理解される環境ときっかけ作りになることを期待しております。



組織図・役員業務分担表 (平成26,27年度)

*印は、新任役員を示す。
※印は、重複役員を示す。

H26.12.24改訂

委員 (19名)

藤木 宏互	森脇 匠一
(株)藤木設計事務所 TEL 576-4351 FAX 577-1921	丸正建設(株)一級建築士事務所 TEL 621-8661 FAX 621-5887
イオキベ	
五百旗頭 洋一	神原 毅司
まこと建築工房一級建築士 TEL 200-4850 FAX 200-4850	兵庫六甲農業協同組合一級建築士 TEL 981-7896 FAX 981-0997

吉田 多雄	畑岡 恒久	谷口 敏宏	石田 邦夫 (春名 隆男)
(株)吉田設計事務所 TEL 332-2720 FAX 332-2770	(有)T&H設計一級建築士事務所 TEL 325-5780 FAX 325-5781	(株)財田建築設計事務所 TEL 821-7443 FAX 821-8337	(株)黒田建築設計事務所 TEL 574-0678 FAX 574-1838
井川 和幸	平川 昌勝 (富永 紘子)	前田 進一	
神鋼不動産(株)一級建築士事務所 TEL 261-2240 FAX 261-2139	一級建築士 創企(株) TEL 261-0202 FAX 261-0788	前田建築設計事務所 TEL 575-5624 FAX 575-5624	

* 長谷川 清	* 伊田 昌弘
長谷川建築設計事務所 TEL 871-9054 FAX 871-9005	(株)IDA TEL 861-2001 FAX 861-2002

* 鈴木 祐一	三宅 正浩	岡田 徹
一級建築士 大和船舶土地(株) TEL 232-3131 FAX 232-3226	(株)y+m design office TEL 891-7616 FAX 891-7620	徹建築設計事務所 TEL 271-3933 FAX 265-0850

瀬戸本 淳	小島 順治	前田 さえ
(株)瀬戸本淳建築研究室 TEL 333-0138 FAX 333-0238	神戸中央設計 TEL 242-5621 FAX 242-8900	アトリエ sae TEL 332-7280 FAX 020-4622-4553

各業務担当者表

事業名	担当者名	
親睦ポウリング	代表担当	福富 潔
大会	担当	平川昌勝 (富永 紘子)
	担当	井川 和幸
マーじゃん同好会	代表担当	福富 潔
	担当幹事	前田 進一
ゴルフ同好会	代表担当	柏本 保
	担当幹事	水野 政博
地区別連絡協議会	担当幹事	廣原 俊元
	担当幹事	前田 信行
	担当幹事	大崎 正敏
	担当幹事	三宅 正浩
女性建築士委員会	代表委員	前田 由利
	担当委員	前田 さえ
ホームページ	代表委員	竹中 郁雄
サポート委員会	代表委員	波多野隆之
わが街サポート委員会	代表委員	成瀬 秀一
ビル・マンション神戸 修繕監理協会 (定期報告 業務グループ)	事務局長	柏本 保
	会長	山本康一郎
	副会長	岡田 徹
兵庫工業高校 耐震診断実習業務	講師	竹中 郁雄
	講師	迫水 和裕
一般向けセミナー	副支部長	藤澤 利行
	副支部長	成瀬 秀一
公共建築設計 特別委員会	委員長	山本康一郎
いきいき下町 推進協議会	構成員	柏本 保
	運営委員	成瀬 秀一

本部役員・部員・委員業務分担

部 名	部・委員会担当者名	
総務財務部	副部長	水野 政博
	部 員	川崎 史
教育情報部	副部長	前田 信行
	部 員	阪本 元秀
経営部	部 長	前田 由利
	副部長	成瀬 秀一
技術部	副部長	水野 政博
	部 員	谷口 敏宏
広報渉外部	副部長	成瀬 秀一
	部 員	波多野隆之
わが街サポート 委員会	副委員長	成瀬 秀一
苦情解決 委員会	委員長	柏本 保
	委 員	迫水 和裕
倫理委員会	委 員	迫水 和裕
法定講習対応 委員会	副委員長	前田 信行
	委 員	岡田 徹
役員候補者 選定委員会	委員長	高田 昌之
組織運用規程 委員会	委 員	藤澤 利行
IT委員会	委 員	柏本 保
既存住宅流動化 推進検討 特別委員会	副委員長	柏本 保
	委 員	前田 信行
	委 員	阪本 元秀
会員増強 特別委員会	副委員長	水野 政博
	副委員長	前田 由利

賛助会 (12社)

代表幹事 (正)(株)北村鉄工所 北村 憲司 太田 慧一 TEL 06-6719-3031 F06-6719-3043 (副)菱電エレベーター施設(株) 神戸営業所 岡本 季雅 TEL 331-7221 F 331-5546	総務部幹事 (正)小松ケル工業(株) 神戸営業所 長川 裕 TEL 856-8181 F 856-8141 (副)吉野石膏(株) 神戸営業所 村瀬 剛 TEL 302-3062 F 302-3071	事業部幹事 (正)大阪ガス(株)兵庫リビング営業部都開チーム 小原 章嗣 TEL 360-3586 F 360-3014 (副)(株)総合資格 総合資格学院 神戸校 石村 雄彦 TEL 241-1711 F 241-6711
広報部幹事 (正)三和シャッター工業(株) 神戸支店 三原 芳之 TEL 871-5557 F 871-5532 (副)大創建設工業(株) 浅井 嗣也 TEL 371-0325 F 341-6015 (副)関西塗研工業(株) * 藤田 秀人 TEL 06-6454-1271 F 06-6454-1672	研修部幹事 (正)エスケー化研(株) 藤谷 章 TEL 671-0451 F 671-0474 (副)(株)LIXIL 神戸支店 奥田 海太 TEL 361-3322 F 361-6956	厚生部幹事 (正)文化シャッター(株) 神戸支店 谷向 康裕 TEL 371-3853 F 361-7558 (副)(株)神戸清光 今田 貴光 TEL 681-5789 F 681-8357

※役員総会 3 8 名 + 1 3 社

※ 成瀬 秀一	※ 水野 政博	※ 前田 信行	※ 前田 由利
成瀬設計事務所 TEL 862-0810 FAX 020-4624-2135	一級建築士 水野建設設計(株) TEL 231-1931 FAX 231-1939	前田信行一級建築士事務所 TEL 881-5640 FAX 871-0123	YURI DESIGN TEL 846-5125 FAX 846-6525

新 入 会 員 紹 介

【正会員】

支部	氏 名	年 齢	事務所名	所在地／TEL／FAX	備 考
神戸	ときた やすあき 鍋田 泰明	47	(株)トキタホーム	〒657-0836 神戸市灘区城内通4丁目7-16	開設者 兼 管理建築士
				TEL : 078-861-2311 FAX : 0798-33-6806	
E-mail : ibisco@poppy.ocn.ne.jp					
神戸	ほうたに かつま 寶谷 勝馬	67	設計事務所 建築計画 寶谷	〒670-0902 姫路市白銀町100	一級建築士 管理建築士
				TEL : 079-223-0194 FAX : 079-223-0194	
E-mail : k-hotani@zeus.eonet.ne.jp					
神戸	かまた あきら 鎌田 晃	35	(有)興和ハウジング	〒657-0831 神戸市灘区水道筋1丁目19-3	二級建築士 管理建築士
				TEL : 078-855-7588 FAX : 078-855-7578	
E-mail : kouwa.a.k@mx5.alpha-web.ne.jp					
神戸	まるたに とみのり 丸谷 富則	59	(株)アートテック 一級建築士事務所	〒653-0035 神戸市長田区庄田町2丁目5-11	一級建築士 管理建築士
				TEL : 078-643-6430 FAX : 078-643-6441	
E-mail : arttec@fine.ocn.ne.jp					
神戸	すえひろ あきのり 末廣 彰伯	61	(有)末広設計	〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-5-1-810	一級建築士 管理建築士
				TEL : 078-241-8832 FAX : 078-241-8932	
E-mail : sue810@abelia.ocn.ne.jp					

【賛助会員】

支部	名 称	代 表 者 名 (担当者名)	所在地／TEL／FAX	業 種
神戸	(株)アスノ ^{こうべえいぎょうしょ} 神戸営業所	大塚 善基 (谷口 裕基)	〒657-0851 神戸市灘区味泥町3番21号	金属屋根、壁成型材・窯業屋根、壁建材・プラスチック外装建材・ステンレス防水工法・太陽光発電システム・道路安全施設・公園施設・テールアルメ・緑化資材・スポーツ施設・販売施工
			TEL：078-806-2208	
			FAX：078-871-6905	
神戸	ケイミュー(株) 神戸営業所	瀬島 章雄 (大藤 興博)	〒650-0031 神戸市中央区東町126 神戸シルクセンタービル8F	屋根材、外壁材、雨とい
			TEL：078-333-1048	
			FAX：078-333-1105	
E-mail：y-okumr@kmew.co.jp				
神戸	(株)ホクコン 兵庫営業所	松川 雅彦	〒673-0898 明石市樽屋町8-34 大同生命 明石ビル6F	コンクリート2次製品製造・販売、EV昇降路ラクシスの製造・販売・施工、「全国PCaエレベーターシャフト協会」事務局
			TEL：078-918-3668	
			FAX：078-918-3768	
E-mail：M_Matsukawa@mail.hokukon.co.jp				



作 品 紹 介



子ども達が豊かに生活し、成長において記憶に残る物語としてデザインすることがテーマでした。

【海棟】地中海のような明るさを持つ瀬戸内海をイメージし、太陽と白とブルー、リズムカルな窓の配置で、活気に満ちた、気分を高揚させるデザインとしました。楕円形の園庭に沿った曲線により、保育室が外に向けて開け放たれるよう配慮しました。アプローチに面するカーテンウォールからは子ども達の活動が見えます。

【森棟】森を表現するため、白とグリーン、一部をイエローとオレンジで彩った非日常的な配色が、観る人の心をとらえます。また、シンボルツリーである枝垂（しだれ）桜を保存するための、大きな円形のくぼみが立面デザインを特徴づけています。



設計監理／株式会社瀬戸本淳建築研究室
 物件名／明舞幼稚園第Ⅰ期（海棟）
 施工／株式会社 村上工務店
 建築場所／神戸市垂水区狩口台5丁目
 工期／平成24年11月～平成25年8月
 構造規模／S造（一部RC造）
 地下1階、地上2階
 建築面積／433.54㎡
 延床面積／1,097.49㎡

設計監理／株式会社瀬戸本淳建築研究室
 物件名／明舞幼稚園第Ⅱ期（森棟）
 施工／株式会社 村上工務店
 建築場所／神戸市垂水区狩口台5丁目
 工期／平成25年4月～平成26年2月
 構造規模／S造（一部RC造） 地下1階、地上4階
 建築面積／832.00㎡
 延床面積／2,639.73㎡

受 祝 賞

兵庫県自治賞



藤 澤 利 行

すまいるネットだより

平成27年1月発行記事

一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社
住環境再生部支援課長 小川 直樹

新年あけましておめでとうございます。

神戸市すまいの安心支援センター「すまいるネット」です。(一社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部(神戸支部)のみなさまには、日頃よりたいへんお世話になっております。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

さて、すまいるネットは、阪神・淡路大震災の教訓から、住宅の安全性の向上と維持管理の適正化の重要性が再認識され、住宅の品質や機能に対する市民意識が高まったことなどを背景に、神戸市すまい審議会の提言を受けて、平成12年10月に設置されました。以来、すまいに関する「相談(対応)」、「情報提供」、「普及啓発」を柱に、市民のみなさまにご利用いただく「すまいの総合窓口」として様々な業務を行ってきており、今年10月で設立15年を迎えます。

平成25年度は、営業日数300日を通して、相談件数5,352件、セミナー・イベント参加者4,024名(79回)など、多くの市民の方々にご利用いただいておりますが、これも、神戸支部の皆さま方をはじめ、各種関係団体とのネットワークを基盤として、運営体制を築けたからこそであると感謝しております。

また、近年は、マンション管理組合の支援、すまいの耐震化促進などにも取り組んでおり、この分野でも皆さまと連携をさせていただいております。

マンション管理支援では、平成23年度よりマンション管理セミナーを共同で行っており、昨年度は、神戸支部の皆さまの企画で、高経年マン



ションの大規模修繕工事における地震対策をテーマに開催させていただきました。また、分譲マンション管理組合のエレベーター新設検討を支援する「分譲マンションバリアフリーアドバイザー派遣制度」についても平成14年度よりご協力いただいております。エレベーターの設置検討、アドバイスを行っていただきました。

さらに、すまいの耐震化促進では、無料耐震診断にご協力いただいているほか、市内各所での相談会などのイベントを通じて、すまいの耐震化のPRにもご尽力いただいております。

神戸市は、地震による建物の倒壊等で命を落とす方を少しでも無くすため、平成26年度も耐震改修工事の補助メニューを拡充しております。その一つとして新たに創設した「小規模型設計工事パック」は、自己資金が少ない方や瞬時に建物が倒壊しない程度の改修工事でもよいという方に対し、少ない費用で改修工事ができる制度となっております。

すまいの耐震化は、費用面だけでなく、その効果が見えにくいといった理由からなかなか進んでおりません。新しい補助制度も含め、市民にその効果や必要性をわかりやすくご紹介いただきますようお願いいたします。

阪神・淡路大震災から20年を迎えた今年、震災から得た教訓を今一度市民のみなさまとしっかり共有するため、すまいるネットとしてもさらに認知度を向上し、なお一層の取り組みが必要です。そのためにも神戸支部の皆さまとより連携を深めさせていただきたいと考えております。今後ともよろしくお願いたします。

●●●「作品紹介」の募集と展示のご案内について●●●

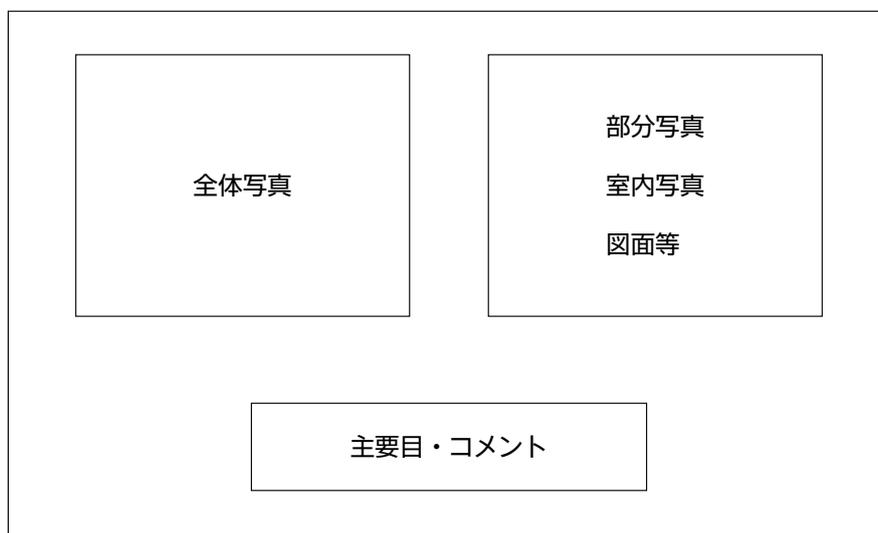
標記について、「作品紹介」を下記の展示・掲載のために、会員の皆様から募集しますので、応募要領により奮ってご応募下さい。

I 「作品紹介」募集について

1. 応募作品の内容

建築物を対象とし、下記の要領で纏めた作品とします。

写真と主要目・コメントを下図(例)のようにA3サイズにレイアウトして、下記の宛先までご送付下さい。



①写真配置は例示したもので複数枚でも可です。

②机上自立展示又は壁に吊り掛け展示になりますので、当方で用意するA3透明硬質ビニール製カードケースに入れて展示しますので、挿入出来るものとします。(カラーコピーで可)

主要目・コメント欄には下記事項を記載して下さい。

①物件名 ②設計監理 ③施工 ④建築場所(区町まで) ⑤工期 ⑥構造規模 ⑦建築面積 ⑧延べ面積
⑨内容・コンセプト

* 応募作品は返却しません。

2. 応募作品提出先

連絡先：〒657-0842 神戸市灘区船寺通4丁目5-21 成瀬設計事務所 宛(郵送又は宅配便)

TEL 078-862-0810・FAX 020-4642-2135/Email:naruse2@gmail.com

出来るだけ展示・紹介したいので、その他にご推薦出来る展示場所がありましたらご連絡下さい。

『アメリカ サンフランシスコ』旅行

関西塗研工業株式会社 藤田 秀人

夏は涼しく冬は暖かい。街並みも綺麗で陽気な人が多く、とにかく楽しませてくれる『アメリカ サンフランシスコ』。僕が今回の旅行で楽しめた事やビックリした事を紹介したいと思います。

サンフランシスコ国際空港から車でダウンタウンの中心union squareに向かいました。

Free wayは5~6車線で道路も広いのですが、路面が悪く運転しづらいというのが僕の印象です。

Free wayの“Free”は“無料”と連想してしまいましたが、「信号や交差点が無く、ずっと走れる“自由”」の意味だそうです。

運転していると、一番左側の車線には“◇”のマークがあり、これは“Car Pool”と言う車線で、通勤ラッシュの時間帯に2名以上乗車してい

る場合のみ走行しても良い車線です。出来る限り車の通行量やCo2の削減、渋滞を緩和する為の処置だそうです。

40分程で目的地に到着し、早速ダウンタウンをぶらぶら歩きました。

union squareではヨガのイベントが行われていて、たくさんの人で賑わっていました。

「健康やダイエットするには何を食べる??」と聞くと、「シーザーサラダとハンバーガーかしら。」チーズとドレッシングたっぷりのサラダに超でっかいハンバーガー。

これがダイエット食だそうです。全くもって意味が分かりません。

世界で日本食が注目され、ヘルシーだと言われる事に納得です。

街の至る所にはレンタル自転車があって気軽にダウンタウンをツーリングできるのですが、今回は真っ赤な観光バスを利用しました。

ガイドさんは超早口で歌を歌ったり、色々なパフォーマンスをしたり。とにかく楽しませてくれる。と言うのも、皆を楽しませる事で自分を売り込み、スカウトから声をかけてもらう事でAmerican dreamを掴む為らしいです。

有名なコメディアン達は、こういった場で下積時代を過ごして、超大





物になっている人がほとんどなんだそうです。

街を眺めていると本当に色々な人種がいるのですが、特に多いのが中国の方です。10年くらい前に『サ～ンフランシスコのチャイナタ～ウンで飲茶～♪』ってドーナツのCMがありました。ホントその通り。アメリカなのに、なんでチャイナ??って思っていました。ビックリするくらい大きなChina townがありました。写真は撮り忘れたのですが、あらゆるところで太極拳をされている中国の方が多かったので、一応撮っておきました。



ちなみに、サンフランシスコの市長も中国の方だそうです。もはやアメリカでなく「チャイナ+アメリカ」で“チャ”メリカですね。

日本だって負けてません。走っている車の3割～4割くらいは、日本車でした。

10年程前に比べてガソリン価格が約3倍になった事もあり、より燃費の良い日本車が好まれているそうです。

その他にもunion square地下鉄の建設工事にも日本の技術や企業が採用されていました。それに伴ってビルの建設工事や改修工事もたくさんありました。何だか嬉しかったです。

日本サイコー!!って叫びたくなりました。

でもまあ、シャイな僕にはそれは無理!!でしたけど。。。。

観光バスを降りて次に向かうはcable carです。

union squareを中心に各観光スポットまでを繋ぐ路面電車で、観光だけではなく通勤や通学でも利用されているみたいです。昼間の街並みと違って、オレンジ色の外灯が何とも言えない雰囲気醸し出して赤ワインとチーズが似合いそうな、チョッピリ大人な雰囲気でした。

シーザーサラダとハンバーガーでは、絶対に夜のサンフランシスコは楽しめませんね。



今回の旅行は短期でしたので、色々な事に挑戦したり行ってみたりする事ができなかったのですが、また次回の楽しみにしたいと思います。何度も行きたくなる『アメリカ サンフランシスコ』。

僕は大好きです。皆さんも是非行って見て下さい。きっと最高の思い出が作れる場所です。

ダッチオーブン

三和シャッター工業(株) 三原 芳之

ダッチオーブンとの出会いは今から21年位前です。当時アウトドアやキャンプにはまっていた私の目に偶然飛び込んで来たのはNHKのドキュメント番組でした。アメリカ西部で行われているダッチオーブン料理コンテストに取り組む人々の物語です。一発で虜になってしまいました。当時住んでいた名古屋周辺で探し回って手に入れました。アメリカLODGE社の12インチキャンプ



ダッチオーブン。直径30センチ重さ9キロの簡単に言ってしまうと重たい鉄製の脚付き鍋です。これを手始めに12インチディープを2個、キッチンダッチオーブン10インチ、ヤングマンクッカー、ヤングマングリル、スキレット、コンボクッカー、サービングポット8インチといつの間にか増えてしまいました。オートキャンプでも家でもローストチキン、ローストターキー、パン、ケーキ、パエリア、チリコンカン、ローストビーフ、ローストポーク、ピッツァ、スコーン、ポークビーンズ、燻製、鯛の塩釜etc. と大活躍です。重い・デカイ・錆びやすい。こんな面倒くさいダッ



チオーブンですがこれで作った料理を一度味わうとその魅力がわかります。たとえばローストチキンですが4キロのデカイ丸鶏を丸ごとのジャガイモ、ニンジン、玉ねぎと一緒に12インチディープにぶち込んで上下に炭火を置いて40分ぐらい放置します。蓋を開けるとこんがり焼けたチキンと野菜たち。チキンの皮はパリッと中はジューシーに野菜は本来の甘味が引き出されます。ぶ厚い本体を通してゆっくり熱が伝わり3キロもある蓋で密閉された材料がじっくり料理される。これがダッチオーブン料理の旨さの秘密です。焚き火から始める料理。これぞアーリーアメリカン。西部開拓時代のカウボーイたちが朝材料を放り込んで



焚き火の中に入れておき、牛を追って昼に帰って来ると料理が出来ている。こんな風に使われてきたダッチオーブン。ヨーロッパからのアメリカ移民の中で勢力が大きかったオランダ人の商人たちが販売し自分たちも使っていた「オランダ人のオーブン」からこの名がついたと言われています。使い込んで鉄物の表面が真っ黒のツルツルになったダッチオーブンをブラックポットと呼びます。アメリカ西部では今でも永年かけて育てたこのブラックポットを宝物のように子々孫々引継いでいるそうです。私の場合は趣味の違いから一代で終わるかもしれませんがアメリカ大西部に思いを馳せながらこれからも末永く付き合っていきたいと思えます。

工夫の詰まった建造物

(有)竹久建築設計事務所 平川 宏 行

●視に行きたいもの

白水ダム正式名称「白水溜池堰堤」で国指定重要文化財

所在地：大分県竹田市

完成：1938年

規模：高さ14m、長さ87m

貯水量60万トン。

設計者：小野安夫（大分県庁土木技師）

— 昨年の11月7日毎日新聞に掲載
「日本で最も美しいダム」と紹介された
下流350ヘクタールを潤す農業用ダム
です。記事概要を読んで何時か行きたい
願望NO1出来れば今年中に。

以下記事要約

測量の段階で地盤の弱さが分かり、水
が激しい勢いで落ちないように工夫し
た、堰堤の表面を目の粗い切石で積み
上げ流れ下る水が水泡となり勢いを鈍
らせる、また傷みやすい側壁は半円形
の階段状に重ねることで水圧を分散、

また当時高価なコンクリートを減らし地元産石材で費用を圧縮し5年で完成したと記述。

(写真も記事では不鮮明なためWikipedia転写)



右岸の流れ



左岸の流れ

●視たもの



2014/11/29撮影

同志社大学明德館耐震改修工事

完成：2013年9月

設計：東畑建築事務所、類設計室

柔らかく主張する耐震補強、校内既存建物
との調和



2014/11/29撮影

私の愛車遍歴

大和船舶土地株式会社 鈴木 祐一

私は昭和53年4月に大学に入学しました。学校は京都市内で最初の半年は自宅から通学していました。夏休み中に自動車免許を取得すべく努力したのですが間に合わずに神戸の自動車学校から京都の宝ヶ池自動車学校になんと転校しました。路上実習では京都の狭い道路にも苦労しながらようやく免許を取得できました。そして初めての愛車となったのがトヨタのセリカXX (写真1) です。



写真1 (高速をツーリング中)

もちろん新車で購入してもらい大変うれしかったです。初めての神戸方面のロングツーリング(勿論彼女を乗せていました。)の昼食時、ファミリーレストランの駐車場で初めてトラックとの接触事故を経験したり、いろいろな思い出が蘇ってきます。エンジンは普通の直列6気筒のエンジンでしたが当時この車で女性にご縁がありました。

二番目の車はニッサンローレルのフォードアハードトップを購入してもらいました。なぜこの車を選んだのか理由は忘れましたが、4枚ドアの車で大学院の間は重宝しました。

3番目の車は大学院の修士課程を修了し父の会社に入社した後に当てがわれたコロナ1500GX

というセダンに2年程のりました。その後マークII、メルセデスベンツCクラスと乗り継いでいきました。そして、私が35歳当時初めて憧れのポルシェ911クーペ(写真2)の一年落ちの中古車

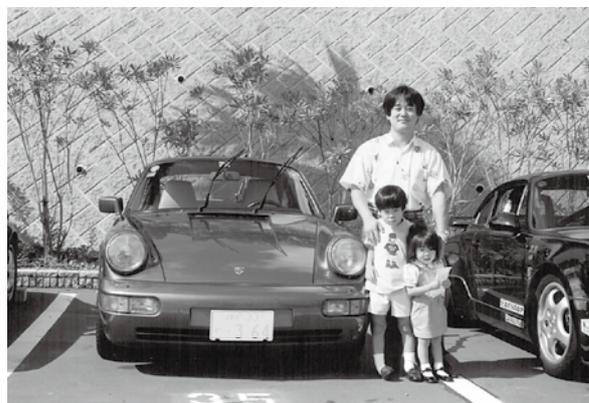


写真2 (家族旅行でのスナップ)

を購入しました。この車は紫のメタリック色でアイボリーの革シートと大変カッコイイ車でした。前のオーナーは……何とロックスターの矢沢永吉だったのです。普通紫のメタリック色なんて購入しませんよね。この車は何せ派手な外観で行った先々で知り合いの方々に目撃されてイロイロ困ったものです。この車に3年程乗り38歳の時に新車で紺色の911クーペ(写真3-1、3-2)に買い換えました。その後ボクスター、ボクスター



写真3-1 (岡山国際サーキット走行中)



写真3-2 (岡山国際サーキット走行中)



写真4 (松本平に於いて)

S、パナメーラGTSと乗りついで現在に至るといった状況です。もちろん仕事用の車は別でベンツCクラスからEクラス、Sクラス3台、CLSクラス、EクラスCDI2台、Eクラスクーペと沢山の出会いがありました。纏めますと現在ポルシェパナメーラGTS (写真4) ポルシェボクスターS、ベンツCLSクラス、ベンツEクラスCDI、ベンツEクラスクーペを愛用しています。

ざっと愛車遍歴を辿ってきましたが、ポルシェクラブのお話は是非しておきたいと思います。ポルシェ車を購入しますとメーカー公認のポルシェクラブに入会する権利ができます。私は最初に購入した時期に新しくポルシェクラブ中大阪支部を

設立しました。一体なにをするのかとお思いでしょう。それはツーリング、サーキット走行会、親睦パーティー等…多彩です。なかでも2年1回行われるポルシェパレードIN鈴鹿 (写真5) はポルシェクラブジャパンが主催して日本中から250台程の各種ポルシェが大集合します。フリー走行会、パーティー等、結構楽しいです。読者の皆様も一度ポルシェを購入頂きポルシェワールドを体験しませんか。貴重な体験になり皆様の設計される建物・施設の作風が変わるかもしれませんよ。また、街中で黄色のボクスターS、赤のメタリック色のパナメーラGTSを見かけたら声をおかけください。



写真5 (1994年度ポルシェパレードに於いて)

槍ヶ岳に登る

(株)山本設計 代表取締役 山本 康一郎

2014年7月26日、30数年ぶりに槍ヶ岳山頂に立つ。深田久弥は日本百名山の中で「富士山と槍ヶ岳は、日本の山を代表する2つのタイプである。(中略)一生に一度は富士山に登りたいというのが庶民の願いであるように、いやしくも登山に興味を持ち始めた人で、まず槍ヶ岳の頂上に立ってみたいと願わない者はないだろう。」と述べている。山容は、北アルプスの山々を象徴するかのごとく穂先がそそり立ち、日本のマッターホルンと言われるダイナミックな岩峰である。標高3000メートルを超す山であり、軽装での登山はご法度である。もちろん、登山準備と体調管理に気を付けて登れば、小さなお子さんからシニアの方々も頂上に立つことができる山である。

槍ヶ岳をふもとから眺められる場所は限られている。信州側のJR大糸線沿いからは見る事ができない。また、上高地からは立ちはだかる奥穂高の峰々を楽しむことは出来るが、槍ヶ岳を眺めるには5時間以上歩き、槍見沢で穂先が一瞬見える程度である。飛騨側の高山市からは北アルプスを遠望することで、その中でひときわとんがっ

た山が槍ヶ岳である。

登山との出会いは、22歳の時である。従兄に連れられ上高地から西穂高、ジャンダルム、奥穂高、北穂高、大キレットを越えて槍ヶ岳を登頂し、上高地に下山する難度の高い縦走に始まる。その後4~5年間北アルプスを中心に多くの山を登った。その間、槍ヶ岳には何度か登り、青春時代の思い出深い山である。登山と遠ざかったのは、夏に一級建築士の試験があり、山絶ちすることで何とか合格することができた。しかし、その後は山登りと疎遠になった。

山登りのブランク約30年。復活登山は、5年前の富士登山にさかのぼる。当時、友人T君60歳、K君58歳、小生56歳であり、T君、K君は初登山につき、山岳ガイド同行の富士登山に参加。その後は、八ヶ岳、奥穂高岳、白馬岳登山と毎年1回3人での夏山登山を楽しんでいる。ヨレヨレだった初老登山隊も、年を追うことに装備は洒落たブランド物になり、歩き方もしっかりし様になってきた。おかげで今年の槍ヶ岳登山では、ほぼ標準タイムで無事に登頂、下山することができた。

- 1日目 上高地発→横尾→槍沢ロッヂ泊 (5時間30分)
- 2日目 槍沢ロッヂ発→槍ヶ岳の肩→槍ヶ岳頂上→槍ヶ岳山荘泊 (6時間)
- 3日目 槍ヶ岳山荘発→槍沢ロッヂ→上高地 (7時間30分)



ここからがスタミナ勝負！！



日本第5位 3180m 周囲は絶壁！！



後方中央が常念岳、手前は表銀座の山脈 雄大な景色に感謝！！



雲に隠れる穂高連峰を望む



槍ヶ岳山荘と槍ヶ岳穂先

1日目、2日目は好天に恵まれ、槍沢に残る雪渓ではアイゼンを装着し慎重に登る。長く続くガレ場の登りはきついが一歩一歩高度を稼ぐ。槍ヶ岳が近づき大きくなるにつれ疲れを忘れさせてくれる。そして、やっとの思いで槍ヶ岳の肩にたどり着く。

ひと休みの後、頂上に向かう。ここからが槍ヶ岳登山の核心部である。槍ヶ岳の肩から頂上までは、登り専用と下り専用のルートに分けられている。頂上付近の登りは急勾配な岩場であるため、目印のペンキマークを探しルートをとどる。そして3点支持の基本動作を守る。危険箇所には鎖やハシゴが設置されており、気を引き締めて登れば難所を超えることができる。頂上直下には2本の長い鉄製のハシゴが設置されており、登りきると山頂に到達する。下りルートはさらに緊張する箇所があり、岩の手掛かりや足場を見定め、慎重に降りることが肝要である。

今回、快晴の槍ヶ岳山頂からは、360度パノラマの景色は厳しかった登りを忘れさせ、心の底から登頂の喜びと山々の風景を愉しむことができた。また、山頂の祠を30数年ぶりに拝み、胸にジーンとくるのを覚えた。

山登りの醍醐味は、山頂に立った一瞬の喜びである。まさしく「百の頂きに百の喜びあり」である。今回は、天候に恵まれたが、霧や雲の中で何も見えない時も多々ある。しかし、そこに山がある限り登りたくなるのが山好き人間である。また、苦しい上り下りも目標に向かって一歩一歩足を進めることで、何かを教えてくれるのが山登りの素晴らしさである。

これからも無理をせず、自分たちにあった山登りを楽しみたいと思う。

夏山、秋山登山は積雪期と違い、老若男女が楽しむことができる。しかし、危険が伴う岩場も多くあり、自分の手と足で乗り越えていかなければならない。当然のことながら登る以上は無事下山しなければならない。安全が第一である。そのためは、しっかりとした準備が必要であり、無理のない計画を立て、山の状況や体調に合わせ臨機応変に対応することを基本におき、山登りを楽しむことをお勧めする。

本稿は、筆者が神戸市測量設計協会の2014年会報誌『測量・設計』vol.18へ寄稿した文面を加筆、訂正したものである

老朽マンションの再生について



一般社団法人 兵庫県マンション管理士会
理事 田頭 修

阪神・淡路大震災からはや20年の歳月が経過しました。当時を振り返りますと、兵庫県内の建物のうち、分譲マンションに限定すれば、県内において全壊、半壊のマンションは172件あり、それぞれが大きな被害を受けました。当時の兵庫県の資料によりますと、震災発生2年4か月後の復興状況として、172件のうち約62%にあたる107件が建替えに、54件が補修により再建を図る合意形成ができたことを伝えております。これら100件を超えるマンションの建替えの中には、建物の区分所有等に関する法律（以下「区分所有法」といいます。）第65条に規定する団地（1団地内に数棟の建物があり、その団地内の土地又は附属施設がそれらの建物の所有者の共有に属する場合）のマンションで、数棟のうち1棟だけが破損により建替えが必要になった場合があります。しかし、当時は団地内の1棟だけを建替えるための法律が整備されていなかったため、建替え事業に取り組まれた関係者は、大変な苦労を重ねて建替えを実現されたところであります。これらの苦労が報われて、平成14年の改正区分所有法においては、第69条（団地内の建物の建替え承認決議）及び第70条（団地内の建物の一括建替え決議）が追加され、団地における建替え規定が創設されました。

震災当時のマンションストック数と現在のそれとを比較してみますと、震災直前の全国のストッ

クは277万戸でありましたが、それが平成25年末には601万戸に達しており、戸数にして2.17倍となっております。現在、兵庫県内には40万戸を超えるマンションストックがありますが、都道府県別戸数では、東京都、神奈川県、大阪府に次いで全国で4番目のストック数となっております。これは県内世帯数の18%に近い世帯が分譲マンションに居住していることを示しております。

一方では、マンションの老朽化が進行しており、昭和56年5月以前に着工された、いわゆる旧耐震基準のマンションストック数も全国で106万戸存在するといわれております。来たるべき南海トラフ大地震に備えて、旧耐震である老朽化したマンションの再生において、早急な対策が必要であることは言うまでもありません。国においても、阪神・淡路大震災の後に整備されたマンション建替え関連法や耐震改修促進法等の整備が行われましたが、分譲マンションにおけるこれらの再生事業は、区分所有者間の合意形成が極めて難しく、老朽マンションの再生は目標通り進んでいないのが現状であります。

マンションストック600万戸時代を迎え、適時適切な大規模修繕工事や老朽マンションの再生において、兵庫県建築士事務所協会の皆様方が果たす役割は決して低いものではないと思います。兵庫県マンション管理士会におきましても、「管理組合の運営その他マンション管理に関し、管理組合の役員や区分所有者の相談に応じ、助言、指導その他の援助をする。」というマンション管理士の使命に基づき、これまで老朽マンションの管理問題に取り組んでまいりました。しかし、これからは行政との連携を強化していくとともに、一級建築事務所の皆様その他多くの関係者とマンション管理士が連携を図りながら、合意形成の不可欠なマンション再生事業に取り組む事は、マンション再生政策の一助となるとともに、マンション居住者や管理組合のサポートに資するものとして、大いに意義のあるものと考えております。

フォトコンテスト

広報部 前田 信行

さて、昨年は瀬戸内国際芸術祭2013の研修の最中、芸術心を刺激された皆様と軽い乗りで「研修旅行と私の芸術写真」と題して、有志でフォトコンテストを行いました。これが結構、好評でして、今年度は広報部で企画しコンテストを行う事となりました。皆様の写真に対する知識や技術を高める事で仕事にも役立ちますし、何より、広報誌アプローチや支部ホームページに掲載をして頂く事にもなり、広報誌への関心や話題も出来、会員同志の親睦にも寄与できたのではと思っています。今年度は会員の皆様に広く募りましたところ力作が集まり、ありがとうございます。審査は今年も当会の賛助会でもある大阪ガス(株)兵庫リビング営業部の平井保夫氏にいろいろとお忙しいところ無理を承知でお願いしました。周知のとおり平井氏はプロ顔負けの腕前の持ち主で多数の賞も受賞されています。平井氏にはひとつひとつの作品に丁寧に講評を頂きとても感謝しております。来年度は各賞に副賞を付けて皆様に喜んで頂きたいと考えています。

■フォトコンテスト結果は以下のとおり

自由部門

- ★最優秀賞 …… 一級建築士事務所 プラマ190 竹中 郁雄
★優 秀 賞 …… 前田信行一級建築士事務所 前田 信行
一級建築士事務所 伊丹工房 安藤 昇
★入 賞 …… 株式会社 創建設計事務所 佐川 圭
関西塗研工業株式会社 藤田 秀人
一級建築士事務所 YURI DESIGN 前田 由利
徹建築設計事務所 岡田 徹
株式会社 戎真弓建築研究室 戎 真弓

建築物部門

- ★最優秀賞 …… 前田信行一級建築士事務所 前田 信行
★優 秀 賞 …… 徹建築設計事務所 岡田 徹
一級建築士事務所 YURI DESIGN 前田 由利
★入 賞 …… 株式会社 創建設計事務所 佐川 圭
一級建築士事務所 プラマ190 竹中 郁雄
一級建築士事務所 伊丹工房 安藤 昇

《総評》昨年の「研修旅行と私の芸術写真」フォトコンテストに続いて、今年は神戸支部第1回フォトコンテストも審査員をさせていただき大変光栄です。正直、他人が撮影した写真を見るのがこんなに楽しいとは？というのが昨年から感じている感想です。応募作品を拝見すると写真を心から楽しんでおられるのがよくわかります。撮影者名は伏せた状態で写真を拝見しましたが、どなたの撮影か予想がつく写真もありました。とはいえ、先入観に左右されず楽しくも厳しく審査させていただきました。私は、ストーリー性を持たした写真が好きなのですが、まさにそんな好きな写真があり感激しました。写真は年齢・体力に関係なく感性で楽しめる趣味、遊びだと思えます。今回の応募者のように写真を心から楽しめる方を増やす意味でも、神戸支部でのフォトコンが続くことを願っております。今年もありがとうございました。(大阪ガス兵庫リビング営業部 平井 保夫)

【自由部門】

★★★★最優秀賞★★★★

題名『リンゴと…』(竹中 郁雄)

《撮影主旨》熟れたリンゴと若いリンゴ、奥に見えるは…

《講評》手前の大きな熟れたリンゴと少し奥のまだ黄緑色が残る小さなリンゴの対比に加え、奥には若い女性をぼかして配置するという憎い構図。一目見た瞬間に最優秀賞に決めました。男性の撮影者だと思いますが、健康的な女性にダブらせたのは、熟れたリンゴか若いリンゴか？また、奥のモデルの女性の表情がやさしいことも写真全体を引き立てています。よく見ると女性が白いナイフらしきものを手にしています。美しいもの、美味しいものには棘があるということも表現しているのでしょうか？このような写真は、見ている方をなごませてくれます。この撮影者の人生経験すら感じさせてくれます。細かいことを言えば、二つのリンゴの高さをずらせて、大きい手前の方を少し下に配置して、三分割法の対極線上に配置して、女性をリンゴの間に配置すれば更に構図がまとまったのではと思います。手前のリンゴを熟れたイメージにするなら、ストロボを軽く当ててもよかったのではと思います。真中を上下に分割する枝が残念ですが、カメラの進歩か？撮影者の技量か？背景の露出と木陰のリンゴ両方に露出をあわせています。微妙な露出で難しい撮影です。



題名『フォトコンテストよろしく』（前田 信行）



《撮影主旨》フォトコンテストをこれからも続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。尚、子どもは私の甥っ子（4歳）と姪っ子（3歳）です。広報部長より。

《講評》題名からして評価が難しいですが、撮影趣旨はともかく、子供さんがタツノオトシゴの映像に好奇心いっぱい引き込まれている雰囲気がしゃれています。タツノオトシゴと子供さんを対比させるには、これ以上絞りをあげてほかす対比の面白さが薄れてしまうのでちょうどいい絞りです。撮影者は、テレビの下の撮影募集にフォトコンテストをダブルさせたようですが、撮影者の思いとは別にいい写真です。

題名『桜のトンネルはこれから』（安藤 昇）



《撮影主旨》桜並木が延々と続いています。うらかな日。満開の海津大崎の桜。端から端まで堪能しました。

《講評》オーソドックスな風景写真で安心感が漂います。桜にきっちりフォーカスが来ていますし桜の美しさが素晴らしいですし、風景と桜の花の面積比もちょうどいいです。

一言言うならば、若干水平が右下がりのように感じます。背景の距離がそのように感じさせるかもしれません。右手前の生け垣は邪魔ですし、池の水平線と言えいいでしょうか、生け垣が写らないようカメラをやや上に向けるか、カメラの高さをあげてみたらどうでしょうか？写真の完成度はぐっとあがります。もう少し右側から撮影して微妙なパステルカラーの空を入れてもよかったかもしれません。撮影者の感覚は正統的に素晴らしいので、いい被写体を見つけたら、いろんな角度から何枚も撮ってみてください。また、撮影後、パソコンでレタッチして、桜をもう少し鮮やかにしてもいいのではないのでしょうか？

★★優秀賞★★

題名『虹』（藤田 秀人）



《撮影主旨》青空に大きな『虹』が出来たので思わずバシャリ。この画を見たら、悩みなんでレモンドロップみたいにならなくなる気がします。地球に生まれてよかったあー！！

《講評》虹がもう何色かはっきりと撮影できていたら、更に上位入賞でした。青空と陸上のバランスも絶妙。フォーカスもシャープです。ただし、虹そのものにフォーカスをあわせたのかどうか分かりませんが、虹がクリアではないのがやや残念。とにかく、虹をもっと強調したかったです。フォーカスロックで虹にフォーカスをあわせて、レンズの角度を少し下げてこの構図にできればと思います。

撮影者のシャッターチャンスをとらえる感覚は素晴らしいので、この調子で撮影数をすやしてください。もっと素晴らしい作品が生まれます。

★★入賞★★

題名『塀の中の二人（ってフェンス多くない？）』（佐川 圭）



《撮影主旨》支部研修旅行の一コマ。たくさんのフェンスの縦横ラインと2人のコントラストがマッチしているような、してないような……

《講評》塀の中にも関わらず、能天気カメラを構えている廣原先生とVサインをしている川崎先生。いいじゃないですか？芸術性はともかく、塀の中の二人と撮影者の信頼関係がよくわかる楽しいスナップ写真です。

プリントもきれいです。撮影者と被写体の位置関係がやむを得ないと思いますが、広原先生の視線の前からカメラ目線で撮影できたのもよかったのでは。

題名『双眼鏡』(前田 由利)

★入賞★



《撮影主旨》11月30日、萩、浜崎地区の「旧山村家住宅」の蔵にあった双眼鏡。びっくり目玉から向かいの瓦屋根が見えました！

《講評》惜しい！実に惜しい！

いくつかポイントを上げます。これができていたら最優秀賞に選んだかもしれません。

1. 双眼鏡の目をもう少し下げる
2. 外の風景に露出をあわせて（そうすると室内は真っ暗になる）、軽くストロボを強制発光する。
3. 双眼鏡のレンズに移る向かいの瓦屋根を見ているんですから、レンズの中の瓦屋根にフォーカスをあわせる。自分の思いを表現するレベルに到達しているのですから、見る人にわかるよう撮影すべきです。レンズに写った瓦屋根がわかりません。撮影趣旨と合っていません。

題名『自宅からのご来光』(岡田 徹)

《撮影主旨》今年我が家から朝日が綺麗ので連射してしまいました。その1枚です
《講評》どなたの写真か一目でわかりました。自宅からの定点観測見たいですね？夕日に限らず、このようにコントラストが非常に強い被写体の場合、露出は難しいです。カメラ任せではなく、広い範囲で段階露出してほしいです。ただ、日没の太陽の動きは意外と速いので素早い撮影が望まれます。カメラ任せにすると、カメラはちょうどいい露出にしようとして、もっと絞りこんで、手前の町並みはあっさりとしシルエットにしてしまう方がきれいです。町並みのシルエットがはっきりして、日没の太陽が強調されるはず。そうすると写真全体が暗くなるので、太陽がほんの少し高い状態（明るい）状態がベストのシャッターチャンスになったはず。連写もいいですが、段階露出して連写してください。



★佳作★



題名『街角の一風景』(戒 眞弓)

《撮影主旨》門司港の旧大阪商船前での事。強風の中、人力車が2台通り過ぎようとしたその時、ひときわ強い風が... 車を飛ばされまいと踏ん張る車夫、思わずパチリ。

《講評》撮影趣旨に、人力車の車夫が踏ん張っていたとありますが、残念ことにその雰囲気伝わっていません。

シャッタースピードを遅くして、意識的にぶらしてみたら面白かったかもしれません。メインの被写体を画面の中心におかず、三分割法の右下に置いたところはいいのですが、シャッタースピードが速いので動きを止めてしまいました。

《作品講評を終えて》各作品の講評を終えて感じたことを書きます。昨年に比べ明らかに粒がそろっています。どう判断したらいいか悩むという写真はありませんでした。そのなかでまず、建築物部門ですが、建築物の造形美とか建築物をしっかり撮った写真は少なく、どちらかというと自由部門の写真と思われるものが多かったです。

建築物部門は応募作品が少なく全員入賞以上となりました。一方、自由部門はレベルが高かったです。

とくに最優秀賞の『リンゴと』は、撮影者のスケベ心が感じられ私は大好きです。後の女性のバストがリンゴのようであつたら、私としては傑作と評価します。大笑いしました。全体的に明らかに思いを込めて絵作りをしている写真が多く、見ごたえがありました。反面、テクニク、プリントの出来不出来があり残念な気もしました。プリンタにもよりますが、普通紙ではなく写真用の用紙に印刷したら、完成度は変わったと思います。直接講評を聞きたい方がおられたら、講習会を開いていただけたら喜んでお話しします。セルフでプリントにチャレンジしたい方がいれば講習会したいです。プリンタとパソコン、フォトショップが必要になりますが・・・

それだけ才能をお持ちの方が多く感じました。

(大阪ガス兵庫リビング営業部 平井 保夫)

【建築物部門】

★★★★最優秀賞★★★★

題名『額縁の中』（前田 信行）

《撮影主旨》神戸支部の研修会に参加した時の写真です。老舗料亭の庭は玄関門が額縁となり、まるで絵画のようでした。

《講評》納まりと言うか被写体を額縁に見立てて絵作りをされた点と、バックと日影の部分の露出をうまく調和させて撮影された点を評価して最優秀賞に選ばせていただきました。せっかく額縁に見立てているのですから、門の柱の部分も額縁になるよう、もう何歩か前に寄ってもよかったのではないのでしょうか？手前からだんだん細くなる小道は、不思議なもので終点のあたりに向かって視線が動きまわります。そうすると、小道の奥に妙齢の着物の女性でも日傘をさして振り返っていただいたら点景として最高です。それから、しゃがんでもう少し低い位置（この場合でしたら腰辺りでしょうか）でカメラを構えると、石畳の小道が強調できて広がりが見えてきたように思います。レンズを被写体の中心の高さで水平に構えると、ワイドレンズ特徴の歪みが軽減できます。一歩寄って、撮像素子一杯に写してみる。しゃがんだり、手を上に伸ばしてみたりと通常の目線とちよつと変えてみるだけで写真は大きく変わります。この写真は同じ風景を何枚も撮られたかどうかわかりませんが、露出にせよ、構図にせよ、同じ被写体を何枚か取ってみることは重要です。



題名『乾邸の小路』（前田 由利）



《撮影主旨》11月10日、神戸支部「御影ウォーク」で訪れた乾邸。いい建物は、外構まで丁寧に作られています。街を散歩する人を楽しませてくれる、秋の始まりにもとてもよく似合う素敵な塀です。

《講評》やむを得ないと言えばそうなのですが、塀の後の空が明るい（コントラストが強い）ので手前の塀に露出が合うと空が真っ白に飛んでしまいます。最近のデジカメはいろんな撮影モードがあります。もしHDRモードがあるなら、コントラストが強い被写体の場合はぜひ試してみてください。また、HDRでなくても、バックと手前の両方に露出を合わせようとする器用な撮影モードがあるカメラもあります。そのようなモードがないなら仕方がないですが、一度確認されたらどうでしょうか？

バックに秋晴れの青空と雲があれば、写真が変わるのは間違いありません。露出の問題はさておき、塀を真正面からストレートに撮影しているのは好感が持てます。斜めから写すとありきたりの写真になりやすいです。塀に絡みついた葉っぱが高揚しているのも季節を感じさせます。残念な点の一つ、塀を正面から撮影しているのですが、微妙に塀の上側が右下がりです。写真の下部の水平はとれているので、レンズの向きがやや上向き、右向いているようです。カメラの機能に三分割法のグリッドが画面に入る機能があるかもしれませんが（たいていあります）ので、水平にも気を配ってください。完成度が上がります。塀の上に丸い瓦が載っていますが、この配置も左右対称にされたらどうでしょうか？細かいことを言いましたが、写真のセンスは素晴らしいので、後は撮影のテクニックとパソコンでのレタッチです。私なら紅葉の色を鮮やかになるよう調整します。

題名『建物のトランスフォーマー』（岡田 徹）



《撮影主旨》モニュメント越しに見た横浜ランドタワーは「建物のトランスフォーマー」という言葉が思いつきました。

《講評》審査員は、個人的にトランスフォーマーの映画が好きですので、優秀賞に選ばせていただきましたというのは冗談ですが、金属の無機質な雰囲気をもノックで表現したのは正解です。構図の点で、ビルの上方の空の面積が多いように感じます。ここはカメラを近くまで下げて、画面いっぱいにして写してもよかったのではないのでしょうか？目的なくモノクロにするのは感心しませんが、この写真のように金属生命体であるデストロン（トランスフォーマーに出てくる悪役の金属生命体）を表現しようとしたのかどうか分かりませんが、金属を被写体を選んでモノクロに仕上げたのはいい思いつきでした。撮影者のセンスを感じます。

★★優秀賞★★

★入賞★

題名『主はどこへいったのか?』(安藤 昇)

《撮影主旨》広々とした庭園から望む母屋。しかし、そこに主はいません。だから私が立っているのです。(防府毛利邸庭園にて)

《講評》防府毛利邸のことを知らなかったので調べてみました。明治維新後に爵位を得て公爵となっていた旧長州藩主毛利氏の毛利元昭が、国許に建てた邸宅と庭園とのこと。(Wikipediaより)主はおらず撮影者が佇むのみなかなか情感深い撮影条件です。あいにくの曇り空、秋晴れの青空であれば豪邸が引き立ったのですが、これだけは仕方ありません。構図は手広々とした庭園に手前の灯籠と後の邸宅の対比を表現されています。手前の灯籠が立派過ぎると庭園、邸宅というんな被写体を入れようとした結果、撮影者の思いである主がない邸宅に自分が佇んでいるという何とも言えない感情が伝わらなかったように思います。思いを伝える写真が簡単に写せるわけではありません。気楽に写真を撮るたくさん撮ることが大事だと思います。敢えてモノクロで撮影というか、それもコントラストをあげてプリントをすれば、色が不足することを補い、余計なものは排除してしまって無常感みたいなものが表現できるかもしれません。デジタルフォトは、撮影して終わりとか、ヨドバシカメラとかのプリント機でプリントするだけではなく、パソコンであらでもこうでもとレタッチしてプリントアウトするのも楽しみだと思います。撮影者が思いを持って撮影したなら、その思いが伝わる写真に仕上げるのも一つの楽しみだと思います。



題名『鬼瓦・ん! えべっさんやん!』(佐川 圭)

《撮影主旨》長府、武家屋敷の街並み散策で、何気に見上げた鬼瓦の中にえべっさんがいるではないですか! なんか縁起が良いなあ!

《講評》被写体を見つけた時の素直な驚きが写しこまれていて好感を持ちました。写真もキャリアが長くなると、写真をうまくとることが目的になって、上手ですが感動が伝わらない写真が多くなります。こんなこと言うと怒られますが、写真の趣味のグループの作品展で、そんな写真を見かけることが多いです。この写真のように素直な感動を撮影することを忘れず写真を撮り続けていただきたいものです。さて、鬼瓦の中から顔をのぞかしているえべっさんですが、感動しすぎて手元が動いたのでしょうか? 手ぶれしています。感動は大事ですが、そこは冷静にシャッターを押してください。最近のデジカメは大抵手ぶれ防止機能が付いているので、結構大きくぶれているということになります。構図についてですが、この写真を日の丸写真と呼びます。被写体が中央にある写真のことですが、被写体が中心にないといけない場合か、被写体を中心に持ってくるのは避けるべきです。三分割法と言う構図の基本があるのですが、写真を縦横に三分割する線を水平に引いて、その交点に被写体をもってくると写真の納まりが良くなります。いつもこの構図では発展性がありませんが、まずは基本を覚えてそれが無意識にできるようになったら、それを自由に崩しているような構図を試していただきたいと思います。最近のデジカメは、写真の中央でなくてもフォーカスが合うことが多いのですが、一瞬のシャッターチャンスを狙うのではなく、作品作りを心掛けるなら、フォーカスが合う場所(測距点)を中心に決めて、そこでシャッターを半押ししてフォーカスロックして、中心からずらす、いわゆるフォーカスロックを覚えていただきたいです。日の丸写真を無意識に避けるようになれば、構図は上達した証拠です。では、なぜこの写真の構図がもったいないかを書きます。えべっさんの視線の先にあるものを想像させるなら、えべっさんのまえのスペースを大きくとるべきです。えべっさんを大きく写すために縦位置で望遠にして撮影しているのですが、横位置で三分割法の右下の交点にえべっさんをもってくると、えべっさんの視線の先に何もなくてもえべっさんが何かを見ていることを想像させます。もしそこに、なにか紅葉でもあれば、「えべっさん、紅葉をめぐる」とか「紅葉鑑賞」とでも題名をつけたらどうでしょうか? 面白さの上に季節感を感じさせる写真になったのではないのでしょうか? 画面いっぱい撮影するのも大事なのですが、望遠にすると手ぶれしやすいことも覚えておいてください。

題名『萌える秋』(竹中 郁雄)

《撮影主旨》木漏れ日を通した紅葉と寺社があまりにも綺麗なので、敢えて逆光で納めてみました。

《講評》アニメとかで『萌え』という言葉をよく使いますが、撮影者が何に『萌え』たのか不思議だったので、題名の『萌え』について調べてみました。『萌え』とは本来、草木が芽吹くときに「若草萌ゆる」とかそんな使い方をする言葉だそうです。となると今回紅葉が「萌える」と題を付け、紅葉が一斉に芽吹いた感動を伝えたかったのかと別の意味で感動しました。さて、敢えて逆光で撮影と言うことですが、私の記憶ではお使いのカメラには、HDR機能があるはずですが、これを使いましたか? HDRとは「ハイダイナミックレンジ」といい露出を段階的にずらして撮影し合成する技術ですが、明るい部分と暗い部分をそれぞれの適正露出で撮影して合成していいとこどりをする技術です。HDR機能があるなら、風景写真の時は普通に撮影するだけでなく使ってみてください。脱線しますが、iphoneにもHDR機能が付いていて、これは1枚の写真から明るい写真と暗い写真を作って合成するやり方でそこそこの効果があります。講評に戻ります。逆光での撮影は、被写体のエッジに光が回って明るくなり被写体が強調されます。女性を逆光で撮影して、レフ板とかストロボで手前から光をあてることが多いですが、逆光には逆光のいいところもありますので、どんどんチャレンジしてください。さて、敢えてチャレンジした逆光ですが、逆光のせいで建物が陰になった分、暗くなりました。かといって、露出を+補正したらバックの空が白く飛んでしまいます。ですから、HDRのことに触れたわけです。それから建物が上下に長い塔ですので、縦位置の方にするか。もっとワイドで撮るか、横位置ならもっと後ろに下がるか、いずれにしても建物全景をとらえた方がいいように思います。人物でもそうですが、足の部分を切り取るにはそれなりの意図が必要です。建物の下の部分まで納めてもいいのではと思います。この写真では、建物の落ち着きが悪い。このような被写体は早朝や夕方のコントラストが強くない時に撮影することをお勧めします。写真の完成度を上げるには下見をしてから撮影することも必要になります。私がiphoneで撮影した写真を載せておきます。HDRオンで撮ったものですが、携帯でもこんなのが撮影できるということでご覧下さい。



「脱出経路確保」という観点で

地震に立ち向かう!

それが私たちの使命です。

おかげさまで

10年で4631件

マンションの「玄関ドア対震改修事業」進行中!!

近い将来発生するとされる南海トラフ地震。

今、これに備えておくことが必要です。

北村鉄工所は、「マンションの地震対策」の一環として、

住戸からの脱出経路の確保となる「玄関ドアの対震改修工事」を進めてきました。

一方、マンションの大規模改修工事において、「地震対策工事」の導入を促すために、当協会会員の皆様と共に、管理組合に向けたセミナー開催など、徐々に普及活動を進めております。

activity

1

神戸市すまいるネット共催セミナー

「高経年マンションの地震対策」開催しました!



第2回もご期待ください!

2013年11月23日すまいるネットにて、正会員(株)アーキノヴァ設計工房様、賛助会員菱電エレベータ施設(株)様との協働にて開催。市内のマンション管理組合から、18名の聴講ご参加をいただきました。

activity

2

当社が独自で実施した玄関ドアの対震改修工事の実績は、おかげさまでこの10年間で4,631件に上ります。

伊丹市「桜台ハイツ」/神戸市「北野ダイヤハイツ」/神戸市「和光ハイマート」など、兵庫県下でも多くのマンションで当社の対震ドアは採用されています。



activity

3

UR都市機構の全国のマンションの玄関ドアの耐震化に採用!
現在、工事進行中



activity

4

全国の国家公務員宿舎に採用決定!

対震丁番・累計出荷数611,306個(2013年10月末現在)

TOYOTAプリウスのバッテリーを製造するクリーンルームに、摩耗による金属粉を抑える丁番を納入。

K-iw 株式会社北村鉄工所

本社/大阪市東住吉区桑津4丁目12-22

TEL. 06 (6719) 3031 FAX. 06 (6719) 3043

<http://www.taishin-hinge.com/>

三和の防水商品

ウォーターガード^{new}

new

浸水高さ
最大2mまで対応可能

ウォーターガードが水害からお客様を守ります
●ゲリラ豪雨や河川の氾濫、近年日本では都市型水害と呼ばれる都市特有の水害が多く発生しています。

防水シャッター

特許出願中



防水機能がついた電動パネルシャッターです。
地下鉄や地下街の出入口に最適です。

- 浸水高さ最大2mまで対応可能です。
- 管理用シャッターとしても使用できます。



浸水イメージ

パネル仕様

- 材質：アルミ押出型材
- 仕上げ：陽極酸化皮膜(シルバー)+クリア塗装
- パネル厚：55mm
- パネルピッチ：413mm
- パネルセクション重量：約40kg/m

性能

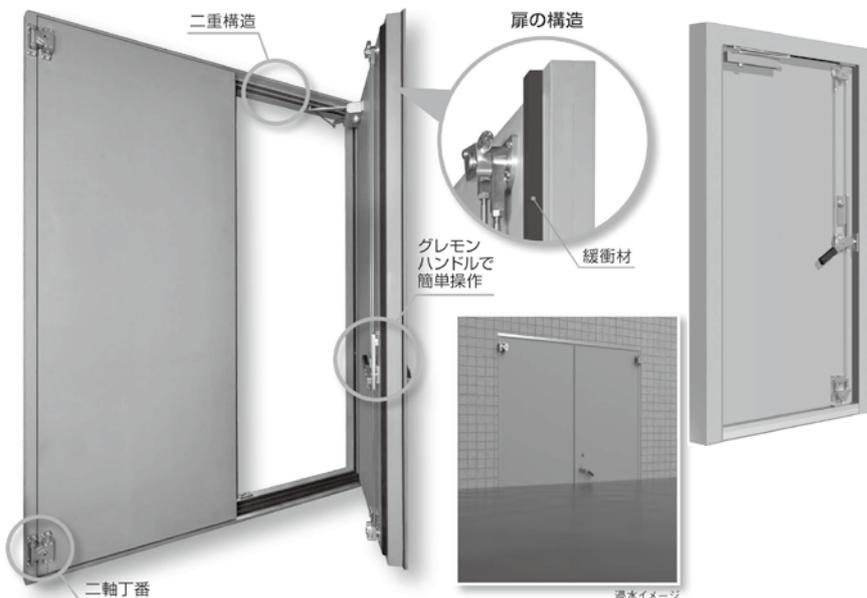
防水性：浸水高さ 2.0m以下
漏水量 20ℓ/h・m以下
[実験値]
1.7ℓ/h・m
(一般財団法人建材試験センターの性能評価試験による)

ダブルタイトドア

特許出願中

設備室や機械室の出入口に最適です。

- 防水性・気密性・水密性を備えた二重構造の防水ドアです。
- 浸水高さ最大2mまで対応可能です。
- 社員通用口などの通用扉としても使用できます。^(注)



基本仕様

構成部材

- 扉：スチール 1.6mm
(ステンレス 1.5mm)
- 枠：スチール 2.3mm
(ステンレス 2.0mm)
- 扉重量：約300kg
(W900mm×H2100mm)

設計範囲(浸水高さ2.0m対応)

片開き
W750~1250mm×H1800~3000mm

両開き
W2500mm以下×H3000mm以下
※親子開きも可能。その他、サイズについてはお問い合わせください。

性能

防水性：浸水高さ 2.0m以下
漏水量 20ℓ/h・m以下
[実験値]
片開き 0.2ℓ/h・m
両開き 7.5ℓ/h・m
(一般財団法人建材試験センターの性能評価試験による)

気密性：A-4等級
水密性：W-5等級
(下水道施設標準図 防水型建具仕様に準ずる)



資産価値を守る大規模修繕工事



国土交通大臣許可(特-22)第14858号

関西塗研工業株式会社

本社 大阪市福島区海老江8丁目8番7号
〒553-0001 TEL(06)6454-1271(代)

FAX(06)6454-1672

神戸営業所 神戸市中央区籠池通4丁目1番50号
e-mail : info@kansaitoken.co.jp
http://www.kansaitoken.co.jp



FS556255/ISO9001:2008

ISO認証 9001:2008/ JIS Q 9001:2008 認証取得
(鋼構造物大規模改修工事部門)



KMEW
ケイミュ

ケイミュ株式会社

ずっときれいに見える家って、うれしいね。

屋根材



GLASSA
(グラスサシリーズ)

色あせにくいグラスサコートで美しい
発色や光沢を長く保ち続けます。

ROOGA
ルーガ



重厚感がありながら軽くて強い新素材の瓦。
地震などの強い衝撃にも割れにくい。

外壁材



ベイラ

光触媒が外壁材の汚れを太陽の光で分解、
雨が汚れを浮かして流す。

金属サイディング
はる一番



フッ素焼付塗装で長い年月による色落ちが
少ない、軽量設計の金属サイディング。

雨とい



雨とい
アイアン

硬質塩化ビニル樹脂の中にスチール芯をインサ
ート。耐久性と強度を併せもつ高品質雨とい。

大型雨とい
エアロアイアン



アイアンの高性能・信頼性はそのままに、
大幅に軽量化を実現しました。

<http://www.kmew.co.jp>

●お問い合わせは…………… [神戸営業所] 〒650-0031 神戸市中央区東町126 神戸シルクセンタービル8F TEL (078) 333-1048

BX

文化シャッター

Life in & Lifelong Partnership

文化シャッターはお客様に安心・安全を提供する「快適環境のソリューショングループ」を目指します。

浸水対策を1枚のドアで。

非常時は「レバーを水平に引き上げる」だけ。
扉が枠に密着し、屋内への水の浸入を抑制します。

高い止水性能

ドア全体が水没する3mの浸水でも
漏水量はわずか20ℓ/(h・㎡)以下

軽い操作性

耐水圧強度を確保しながら、一般的な
スチールドアと同等の納まりと操作性

優れた コストパフォーマンス

従来の水密扉に比べ導入しやすい価格
で浸水対策が可能



止水ドア

新製品

アクアード

(片開きスチールタイプ)

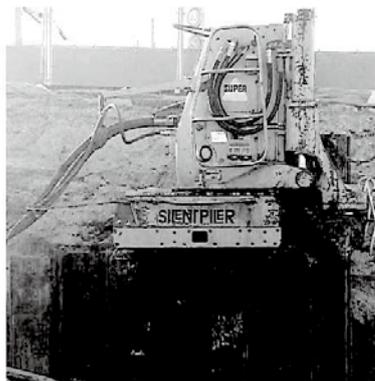
文化シャッター株式会社 関西営業開発部 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル7F TEL.06-6264-0980 <http://www.bunka-s.co.jp/>

建物の礎を、創造し、形にする会社

創 大創建設工業株式会社

〒650-0015 神戸市中央区多聞通3丁目3番7号
TEL (078) 371-0325 FAX (078) 341-6015

E-mail: daisou@arion.ocn.ne.jp

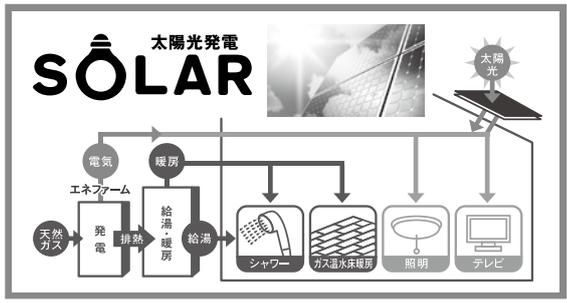


営業品目

- ・各種土留工事の設計及び施工
連続地中壁、H形鋼打抜、鋼矢板打抜
山留支保工・仮設棧橋の架設、アンカー工、霧液注入工
ダウンザホールハンマ、大口径ポーリング工法 (BH)
- ・既製コンクリート杭・場所打ち杭・鋼管杭の設計及び施工
- ・既存杭の引抜・破碎工事
- ・深礎混合処理工 (柱状地盤改良工事)
- ・一般土木請負工事他

「エネファーム×太陽光発電」なら 環境的にも経済的にも優れています!!

電気は「使わず」に「売る」時代。
太陽光×ガスのハイブリッドなら売電量が増えてエコノミー!



191-TB05型(自立運転機能付)なら!!

停電が発生しても、自立運転で発電を継続。

エネファームが発電している時に停電が発生すると、自動で自立運転に切替えて自立運転専用コンセントから、電力を供給します。また、停電復旧時には、自動で通常運転に戻ります。

※エネファームが発電していない時に停電になった場合は、自立運転に切り替わりません。

■運転イメージ [最大発電出力]

700W	分電盤に発電電力を供給	← 系統電力停止中 →	分電盤に発電電力を供給
350W	※約350w 自立運転専用コンセントに発電電力を供給		

自立運転に自動切替 通常運転に自動切替

※排熱利用給湯暖房ユニットが動作するのに必要な電力も含まれます。

お問合わせは **グッドライフコール** 0120-000-555 受付時間 平日 8:00~20:00 日祝 9:00~17:30 大阪ガス家庭用ガス機器総合情報サイト http://home.osakagas.co.jp/search_buy/index.html Design Your Energy 夢ある明日を **大阪ガス**



■アプローチ45号投稿のお願い

本誌面を通じ会員の交流や意見、研究等の発表の場として活用して戴きたく、会員・賛助会様には、内容については自由ですのでたくさんのご投稿をお待ちしております。

投稿先

〒657-0822 神戸市灘区畑原通3丁目8-12-101

前田信行一級建築士事務所 前田信行

TEL.078-881-5640/FAX078-871-0123

E-mail : maeda-ao@mud.biglobe.ne.jp



編集後記

このような冊子の編集をさせていただくのは初めての経験でした。原稿や写真をいただきました方々、また杯を重ねながら楽しく仕事をさせていただいた広報部の皆様に対して心より感謝申し上げます。一生懸命つくりましたので、多くの方々に読んでいただければ幸いです。

広報部 鈴木祐一

■編集 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
広報部 担当副支部長 成瀬 秀一
広 報 部 長 前田 信行
担 当 幹 事 中村 利明
ス タ ッ フ 鈴木 祐一
三宅 正浩
岡田 徹
賛助会 三和シャッター工業㈱ 三原 芳之
大創建設工業㈱ 浅井 嗣也
関西塗研工業㈱ 藤田 秀人

■発行 一般社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部
〒650-0002
神戸市中央区北野町2-7-18
リンス・ギャラリー2-12
(株)アーキノヴァ設計工房
TEL 078-222-3231
FAX 078-222-9980

■編集 集 デジタルグラフィック株式会社
神戸市中央区弁天町1番1号
TEL 078-371-7000
FAX 078-371-7001